

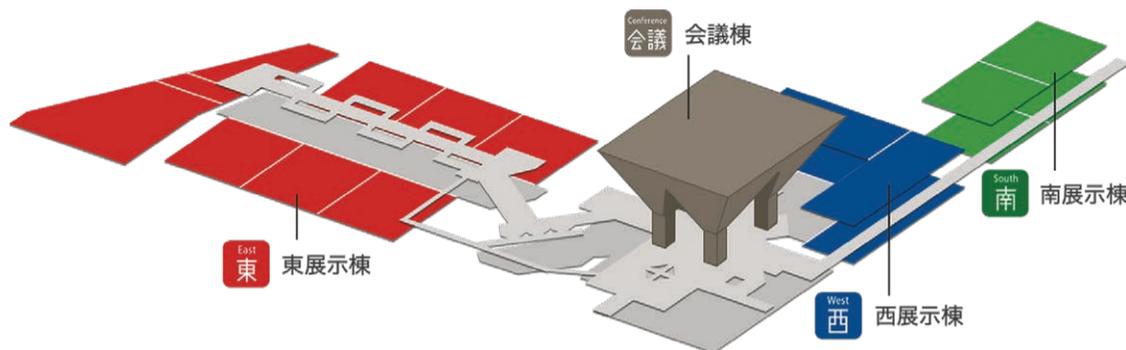


Official **JIMTOF2024**

The 32nd JAPAN INTERNATIONAL MACHINE TOOL FAIR

MAP & DAILY NEWS

会場マップ & デイリーニュース



TOPIC

進化するデジタル技術 ～デジタルツイン・AI活用～

工作機械や機械部品メーカーをはじめとする製造業で、現実世界を仮想空間に再現する「デジタルツイン」や人工知能(AI)などの活用が活発化している。コンピューター上で高精度なシミュレーション解析は開発期間の短縮に寄与する。従来は試作品の製作が欠かせなかったが、デジタル技術の活用によって試作回数を減らすことで手間やコストを低減。人手不足が深刻な社会課題となる中、開発・製造工程のデジタル化は加速すると見られる。



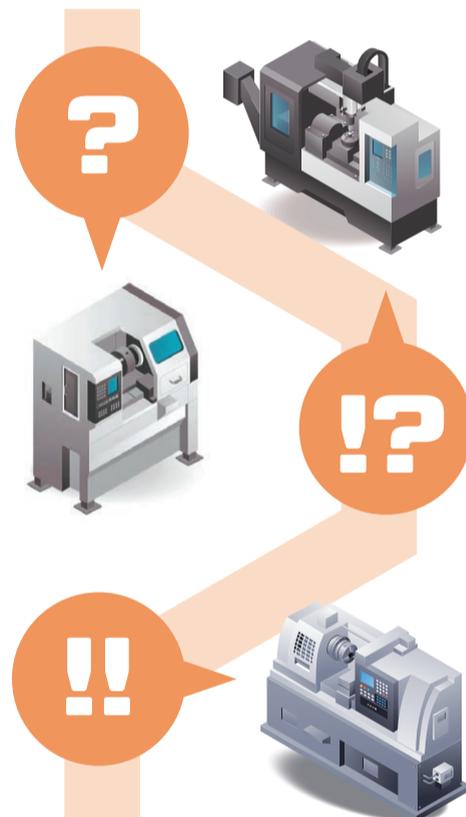
続きは P22

最新デジタル技術に注目！ 社会に寄り添うモノづくり

第32回日本国際工作機械見本市

最新コンテンツを
日替わりでお届け

Look for it.



JIMTOF2024



JIMTOF 2024
特設サイトはこちら

2024年11月5日(火)～11月10日(日)
東京ビッグサイト ▶東8ホール 10:00～18:00*
▶南1ホール 9:00～17:00*
*最終日は16:00まで

DMG MORI MX MACHINING TRANSFORMATION

同時展示

TAIYO KOKI **TECHNIUM** **Magnescale**
DMG MORI **walc** **T Project**
PRECISION BORING
藍空間精度研究所

東京グローバルヘッドクォーター
東京テクノロジーウィーク

+ 世界初出展の NLX 2500 2nd Generationも展示
+ 最新の5軸加工機、複合加工機で実演加工
● 来場登録が必要です。ご来場希望の方は担当営業へお問合せください。

DMG森精機株式会社 www.dmgmori.co.jp

グローバル本社: 東京都江東区潮見2丁目3-23 第二本社・奈良商品開発センター: 奈良県奈良市三条本町2-1

DMG MORI

INDEX

- 全体会場図 2
- 11月6日(水)のプログラム 3
- 出展者一覧(国内) 4-5
- 出展者一覧(海外)・AM Area出展者一覧 6
- ここまで来た!国産3Dプリンターの社会実装 7
- 東1・2・3ホール マップ 8-9
- 東4・5・6ホール マップ 10-11
- 東7・8ホール マップ 12
- JIMTOF FOOD FESTIVAL & JIMTOF Café 13
- 西1・2ホール マップ 14-15
- 西3・4ホール マップ 16
- IMEC2024 (第20回国際工作機械技術者会議) ポスターセッション 17
- 南1・2ホール マップ 18
- 南3・4ホール マップ 19
- モノづくりを支えるデジタル技術 20
- 進化するデジタル技術～デジタルツイン・AI活用～ 22-23
- 新設!アカデミックエリアができるまで/工作機械検定② 24
- 講演会・セミナー一覧表 26
- 講演会・セミナー 27
- AM Area 講演会・セミナー 28-29
- 出展者ワークショップ 30
- 出展者ワークショップ/AM Area出展者ワークショップ 31
- アカデミックエリア 南4ホールに新設 32

11月6日(水)のプログラム Today's Program

会議棟1階 レセプションホール

13:00 - 14:15

【特別講演】モノづくりは 人づくり

Additive Manufacturing Area 主催者メインステージ

13:00 - 16:15

金属Additive manufacturingセミナー

A アカデミックエリア 多目的ステージ

10:00 - 10:15

旋盤体験(企画展示)ステージ

10:45 - 11:00

CAMプログラミング体験(企画展示)ステージ

11:30 - 12:30

— **スペシャルトークショー II** —
工作機械メーカー経営層とトークセッション

13:00 - 13:20

— **キャリアマッチングスクエア出展企業PRステージ** —
松本機械工業株式会社

13:45 - 14:15

— **工作機械関連業界紹介セミナー【測定機器】** —
**「精密測定技術の最新動向
高い信頼性と高品質を生み出す最新のモノづくり」**

14:45 - 15:15

— **関連セミナー** —
世界自動車生産マクロ観セミナー

15:30 - 15:50

— **キャリアマッチングスクエア出展企業PRステージ** —
株式会社牧野フライス製作所

16:00 - 16:20

— **キャリアマッチングスクエア出展企業PRステージ** —
新日本工機株式会社

毎日 アカデミックエリア 多目的ステージ 適時

**YouTubeチャンネル「JIMTOF INSIGHTS」動画放映
工作機械とSmart Factory**
(JIMTOF2022映像再編集版)

JIMTOF
MAP & DAILY NEWS
開催期間中毎日発行!

*本日までのバックナンバーはインフォメーションでも配布中です。
数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。

Day **3**

Day **4**

Day **5**

Day **6**



出展者一覧(国内)

ブース番号
の見方



ア	
WA002	株式会社IH
WA002*	株式会社IH機械システム
E7058	ifm efector株式会社
E7106	株式会社アイゼン
E6028	愛知産業株式会社
E1037*	愛知溶業株式会社
E7082	itp株式会社
W4008	IDEC株式会社
E5040*	株式会社アイトロニクス
E7097	株式会社アカツキ製作所
W2034	株式会社赤松電機製作所
E7089	秋山精鋼株式会社
E7092	アクア化学株式会社
W4074	アクアシステム株式会社
S3085	アクセラントジャパン株式会社
E7090*	株式会社アコー
E7090	アコージャパン株式会社
W2015	アサ電子工業株式会社
E7149	株式会社浅沼技研
W3048	旭商工株式会社
W3003	株式会社旭商工
W4018	旭ダイヤモンド工業株式会社
E1015	株式会社アステック
W4078*	アズビル株式会社
W4078	アズビルTACO株式会社
E7104	株式会社アタゴ
W3065	足立総業株式会社
W4044	厚地鉄工株式会社
S3077	株式会社アツマネジ
W3113*	アツミ工業株式会社
E7133	株式会社アドコールファースト
E6023	株式会社アピコ技術研究所
E1072	株式会社アマダ
E7033	アマノ株式会社
E7012	アメテック株式会社
WA019	株式会社アヤボ
W4002	株式会社荒井商会
W1042	株式会社アライドマテリアル
W4025	株式会社アライドマテリアル
WA021	有限会社アリユーズ
E1021	アルゴット株式会社
E7080	アルファミラージュ株式会社
E1037	ALPHA LASER JAPAN株式会社
E1080	株式会社アルプスツール
W2009	株式会社アルプスツール
E1025*	アルム株式会社
E7009	阿波スピンドル株式会社
E4011	ANCA Machine Tools Japan株式会社
E3009	イースタン技研株式会社
E2033*	EPLAN株式会社
E1035	株式会社Eプラン
E3005	イグス株式会社
E1076	育良精機株式会社
E4050	株式会社池貝
E7144	イサム塗料株式会社
E2014	株式会社石井表記
E5032*	株式会社石川工具研磨製作所
W1044	イスカルジャパン株式会社
W1067	株式会社IZUSHI
WA026	株式会社イズミコーポレーション
WA032	和泉産業株式会社
E1034	株式会社イタカジャパン
W4036	株式会社イチグチ
W4063	出光興産株式会社
E5018	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
E6006	伊藤忠マシンテック株式会社
W2065	株式会社イノテック
E2023	株式会社茨城製砥
W2002	株式会社イマオコーポレーション
E1085	株式会社イマハシ製作所
E1051	入野機工株式会社
W4009	イルジンジャパン株式会社
E6012	株式会社イワシタ
W1034	株式会社イワタツール
WA014	磐田刃物株式会社
E1054	株式会社岩間工業所
S3058	岩本工業株式会社
S3026	株式会社インコム
W4019	インターナショナルダイヤモンド株式会社
S3028	株式会社industria
E5046	株式会社インテグラ技術研究所
W3045	株式会社インプラス
E5007	株式会社インプローブ
E7145	株式会社ウィンテック
E4013	株式会社ウィンテック
E5029	ウェロソフトウェア株式会社
E6036	宇治電化学工業株式会社
W1001	株式会社宇都宮製作所
W4062	ASK株式会社
W1003	株式会社栄工舎
W3002	永興電機工業株式会社
E7038	株式会社エイシンインターナショナル
S3019	永進テクノ株式会社
S3092	A-Safe株式会社
E1025**	エウレカロボティクス株式会社
E4054	株式会社Aiソリューションズ
W1017	AFCジャパン株式会社
E7062	ACS株式会社
E4037	エクストリーム株式会社
E6042	株式会社エグロ
E2049	株式会社エスアンドエフ
W4057	SMC株式会社
W2067	エスエムダブリュオートブロック株式会社
E7098	エスオーエル株式会社
W2001	SDG株式会社
E6007	株式会社エス・ティ・シー
E1028	株式会社エステーリンク
E7121	株式会社SPIエンジニアリング
E3017	エス.ラボ株式会社

E5041	一般社団法人Edgecrossコンソーシアム
E7126	株式会社エッチ・エム・イー
E7118	株式会社Any Design
E5024	エヌ・エス・エス株式会社
E2009	NKワークス株式会社
W2052	NTN株式会社
W1027	NTKカuttingツールズ株式会社
W2050	エヌティーツール株式会社
E4007	ENEOS株式会社
W1049*	エバーロイ商事株式会社
S3003	エバオン株式会社
E1084	エバ工業株式会社
E7074	株式会社エビデント
W4030	株式会社エフエスケ
E5047	FNS株式会社
W1010	エフ・ビー・ツール株式会社
W1068	エム・ゲ・フランケン株式会社
W1077	株式会社エムエーツール
W2038	株式会社MSTコーポレーション
E4023	株式会社MCK
W1058	エリコンジャパン株式会社
E7075*	エルゴジャパン株式会社
S3096	エル・ビー・ウエルド株式会社
E3029	株式会社エレニックス
E6005	株式会社エロワ日本
E3040	エンシュウ株式会社
E3040*	遠州工業株式会社
E7060	オーナー株式会社
W1020	オーエスジー株式会社
E2025*	オーエスジーコーティングサービス株式会社
E5054	株式会社オーエム製作所
E6048	オーケム株式会社
E7013*	大古精機株式会社
W4006	大阪製罐株式会社
E1055	オーセンテック株式会社
E7103	株式会社オーツカ光学
E5009	オートデスク株式会社
E6029	大鳥機工株式会社
S3022	有限会社大野精機
E3008	大野精工株式会社
E7112	株式会社大菱計器製作所
E7127	Orbray株式会社
E5004	オープン・マインド・テクノロジーズ・ジャパン株式会社
E1046*	株式会社オーマツト
E1059	大峰工業株式会社
E3001	株式会社大宮マシナリー
WA035	オーム電機株式会社
W1060	岡崎精工株式会社
W1036	株式会社小笠原プレジジョンラボラトリー
W3051	株式会社オカサギ
E2030	株式会社岡本工作機械製作所
S3101	沖電線株式会社
E7007	株式会社尾崎製作所
E7016	オチヤセイキ株式会社
W3113*	オフィス・キーツ
E7134	株式会社オプトサイエンス
E1075	株式会社オプトン
E5049	ORIN協議会
E3036	株式会社オリジナルマインド
WA005	株式会社オンワード技研

カ	
E2038	有限会社海王
E6030	株式会社科学計器研究所
E3022	株式会社カシフジ
E3042*	株式会社GAZIRU
W2016	カトウ工機株式会社
S3010	株式会社金型新聞社
W1052	カネックス刃物工業株式会社
W2030	カネテック株式会社
W1024	兼房株式会社
W3046	株式会社兼松ケーシング
W2032	カプト工業株式会社
W3016	神谷機工株式会社
W1046*	株式会社Kamogawa
W3102	加茂精工株式会社
E2022	株式会社唐津プレジジョン
E5035	川重テクノロジーズ株式会社
W2060	株式会社カワタテック
W2061	川田鉄工株式会社
W4072	株式会社川本製作所
E7072	菅機械産業株式会社
S3059	株式会社管機産業新聞社
E3023	株式会社神崎高級工機製作所
E1025*	株式会社管製作所
W2062	関東精機株式会社
E2010	関東物産株式会社
E7059	株式会社キーエンス
W3067	喜一工具株式会社
E5016	キステム株式会社
S3061	キソー株式会社
E1083	北井産業株式会社
WA020	株式会社北岡鉄工所
W2011	株式会社北川鉄工所
E4044	キタムラ機械株式会社
E1047	株式会社北村製作所
S3018	株式会社鬼頭精器製作所
S3098	株式会社キトー
W3113*	株式会社岐阜プロテック
E7047	キャディ株式会社
E3004	株式会社キャプテンインダストリーズ
E5031	キャムタス株式会社
W1034**	株式会社QMC
W2046	株式会社九州工具製作所
S3108	協育歯車工業株式会社
E7086	協栄電機株式会社
W1014	京セラ株式会社
W1079	株式会社京二
W1049	株式会社共立合金製作所
W2037	共立精機株式会社

W1018	協和精工株式会社
E1009	協和石油ブリカンツ株式会社
E1052	株式会社キラ・コーポレーション
S3029	株式会社きりしま
E5014	株式会社紀和マシナリー
E7028	近常精機株式会社
E5012*	株式会社空間精度研究所
E7026*	株式会社空間精度研究所
E1012	株式会社グーテンベルク
W1016	グーリングジャパン株式会社
S3046	クール・テック株式会社
E5012*	クオリカ株式会社
E7046	グラボテック株式会社
E6008	グリーンアジア株式会社
W1045	グリーンツール株式会社
S3069	株式会社グリーンプラス
W4003	株式会社クリエイトエンジニアリング
E5026	グランドフォースポンプ株式会社
E7032	株式会社クレオ
W3025	株式会社クレストック
W4039	クレティン株式会社
E6020	株式会社クロイツ
W4001	株式会社グローバルダイヤモンド
S3033	株式会社グローバル・パーツ
E2001	黒田精工株式会社
E4006	GROB Japan株式会社
E2040	株式会社群協製作所
W1048	KFカーバイドジャパン株式会社
W2040	京滋興産株式会社
S3106	京浜ラムテック株式会社
E2009**	株式会社ケー・ティ・システム
E7037	株式会社ケーエムケーワールド
E7063	株式会社ケーメックス・オートメーション
W1023	ケナメタルジャパン株式会社
E1016	株式会社ケミック
E7143	ケルヒャージャパン株式会社
E2007*	株式会社ケン・オートメーション
E1014	株式会社研削研磨
E7075	コーアテック株式会社
W3015	株式会社光正
W1071	株式会社神戸製鋼所
E1058	株式会社向洋技研
W3098	広和エムテック株式会社
E4027	興和機械株式会社
E3003	株式会社コーショー
E7055	株式会社ゴードーソリューション
W2059	COYO株式会社
E7088	コグネックス株式会社
E7078	株式会社小坂研究所
W2024	株式会社コスメック
W4005	株式会社コスモテック
E5015	コダマコーポレーション株式会社
WA011	コニテック株式会社
W3073	株式会社小林ダイヤ
W2013	小林鉄工株式会社
W4081	小原歯車工業株式会社
E7014	株式会社駒谷ゲージ
E5012	コマツNTC株式会社
S3058*	小松鋼機株式会社
W1078	株式会社Cominix
E4021	コムネット株式会社
E1056	株式会社小森安全機研究所
E3025	株式会社コンドウ
E1050	株式会社近藤製作所

サ	
S3072	SATECH株式会社
E6025	株式会社サイダ・UMS
E7084	斉藤光学株式会社
W1061	株式会社サイトウ製作所
W3046	株式会社サイバーRC
E6019*	サイレックス・テクノロジーズ株式会社
W3113*	株式会社坂井製作所
W4070	株式会社阪上製作所
S3084	株式会社相模化学金属
W3074	さくさく株式会社
E5020	株式会社桜井製作所
E4039	株式会社サワイエンジニアリング
W1012	サンアロイ工業株式会社
E3010	サンエール株式会社
WA012	三旺株式会社
WA033	産機テクノス株式会社
W2057	株式会社三共製作所
S3093	株式会社三協リール
E7035	株式会社三桂製作所
E7005	サンゲン株式会社
E7076	サンコー株式会社
W4064	株式会社サンコー
E1039	株式会社サンシン
E3042*	株式会社山誠
E7081	santec Japan株式会社
W1039	サンドビック株式会社(ドーマーブラマツト)
W4031	サンフレックス株式会社
E2007	三宝精機工業株式会社
S3086	株式会社三松
W2048	株式会社三洋製作所
E2019	山陽マシン株式会社
W4079	サンワ・エンタープライズ株式会社
S3102	サンワケミカル株式会社
E1004	株式会社三輪鋳油
W4035	三和商工株式会社
W1037	株式会社三和製作所
E1077	三和ロボティクス株式会社
E4048	株式会社C&Gシステムズ
E5022	株式会社シーイーシー
S3087	CSAグループジャパン株式会社
E2002	GFマシニングソリューションズ株式会社
W4052	CKD株式会社
E2024	株式会社シーケービー
E7022	株式会社シーケービー

E1065	シージーケー株式会社
E5042	株式会社CGTech
E1025*	株式会社ジーネット
E3018	シーフォース株式会社
WA007	株式会社ジーベックテクノロジー
E5008	シーメンス株式会社
W1033	CYカーバイドジャパン株式会社
S3095	JCM JAPAN株式会社
E3015	株式会社ジェイテクト
W4014	株式会社ジェイテクトグライディングツール
E3014	株式会社ジェイテクトマシニングシステム
W2047	株式会社ジェイテクトマシニングシステム
E6046	JSK刃物株式会社
E5028	ジェービーエムエンジニアリング株式会社
E4053	GENIO Solutions株式会社
W4056	シェルブルアプリケーションジャパン株式会社
E7106*	シオンダイヤモンド工業株式会社
W1019*	志賀機械工業株式会社
E2021	株式会社シギヤ精機製作所
E7109	シグマ電子工業株式会社
W3029	株式会社静岡鐵工所
E2007*	有限会社システムエンジニアリング
E5034	シチズンマシナリー株式会社
W4042	信濃機販株式会社
E7045	シナノケンシ株式会社
E3032	SYNOVA JAPAN株式会社
E2043	芝浦機械株式会社
E1074	澁谷工業株式会社
E6026	株式会社システムマシニングツール
W1032	CIMSOURCE Japan株式会社
W3040*	SIMOTSU
E7066	シュメアザール株式会社
E2004	シュンク・ジャパン株式会社
E3002	SHODA株式会社
S3078	JOHNNAN株式会社
E7048	城北化学工業株式会社
E7102	株式会社松染産業
W4082	株式会社正和
W2012	聖和精機株式会社
E7095	ショーワインダストリー株式会社
W3085	株式会社シルバーロイ
S3020	進桜電機株式会社
E1057*	新興機械工業株式会社
E1041	株式会社進興製作所
W1070**	株式会社新三協工具
W1063	株式会社真誠
E4051	新日本工機株式会社
E5021**	シンプルテック株式会社
W1072	新明和工業株式会社
E7055*	新明和ソフトテクノロジ株式会社
W3004	スガツネ工業株式会社
E1079	株式会社スギノマシン
E6022	スター精密株式会社
W4007	ステイト工業株式会社
E3006	株式会社スピーディーターゲットグループ
E3024*	住友重機械工業株式会社
E3024	住友重機械ファインテック株式会社
W4077	住友精密工業株式会社
W1041	住友電気工業株式会社
E7070	スリーアールソリューション株式会社
W1054*	株式会社スリービー
E1087	セイコーインスツル株式会社
E2015	有限会社最上工業
E7057	西部商工株式会社
E2044	西部電機株式会社
E6003	株式会社西部ハイテック
E4036	株式会社セイロアジアネット
E4055	株式会社セイロジャパン
E4041	清和ジーテック株式会社
E5021	株式会社ゼネテック
W1076	CemeCon株式会社
W1005	株式会社CERATIZIT Japan
E4026	先生精機株式会社
W1062	創信日本株式会社
W4041	双和化成株式会社
W3040	双和システム有限公司
E7015	株式会社測範社
S3067	素形材月間推進協議会(経済産業省)
E4015	株式会社ソディック
W3066	有限会社曾根田工業
E4046	株式会社ソフィックス
E4019	ソマックス株式会社

タ	
W1072*	大亜真空株式会社
WA015	第一産業株式会社
E7017	株式会社第一測範製作所
W4058	ダイキン工業株式会社
W1043	ダイジェット工業株式会社
W2049	大昭和精機株式会社
E6029*	ダイセイ株式会社
W4051	大生工業株式会社
W3050	大同興業株式会社
E5040*	株式会社タイナテック
E5052	ダイナミックツール株式会社
E6043	大日金属工業株式会社
S3015	株式会社ダイヤ精機製作所
E7003	ダイヤテスト・ジャパン株式会社
E6041	タイコ株式会社
E3011	太陽工業株式会社
E8003	株式会社太陽機
W1073	大洋ツール株式会社
W4037	ダイワラビン株式会社
W4023	高蔵工業株式会社
E1040	高島産業株式会社
E1048	株式会社タカハンキカイ
W3113*	株式会社高橋精機製作所
WA013	高橋刃物工業株式会社
E6017	高松機械工業株式会社
S3043	高山商事株式会社

出展者の詳細情報はJIMTOF公式ウェブサイトの「オンラインカタログ」よりご覧いただけます。www.jimtof.org



- E3013 株式会社TAKISAWA
- W3113* 滝本技研工業株式会社
- E5030 タクテックス株式会社
- E7054 匠技研工業株式会社
- WA010 株式会社田倉工具製作所
- W2019 竹内精工株式会社
- E2029 株式会社武田機械
- E7053 株式会社たけびし
- E7147 株式会社田島軽金属
- W4021 タックス株式会社
- W1011 有限会社辰野目立加工所
- WA003 株式会社タテノ
- WA023 田中インポートグループ株式会社
- E2016 株式会社TANIGAWA
- S3108 株式会社タニシ
- W3061 株式会社谷テック
- W1035 株式会社田野井製作所
- W1021 株式会社タンガロイ
- W4046 株式会社チップトン
- E7077 中央精機株式会社
- W1050 株式会社中京
- W3113 一般社団法人中部部品加工協会
- W3075* 株式会社ツープラ技研
- W1034** 有限会社ツールディスクカバリー
- W1081 ツールドインターナショナル株式会社
- E2041 ZOLLER Japan株式会社
- E6018 株式会社ツガミ
- E7034 筑波エンジニアリング株式会社
- W2033 津田駒工業株式会社
- E2020 津根精機株式会社
- S3066 椿本メイフラン株式会社
- E7130 TACC株式会社
- E7131* TACC株式会社
- E8001 DMG森精機株式会社
- E8004 DMG MORI Precision Boring株式会社
- E2036 株式会社TMW
- E3042* 株式会社TMW
- W3060 DKSHマーケットエクスペンションサービスジャパン株式会社
- E4009* DKSHマーケットエクスペンションサービスジャパン株式会社
- E7018 TPP大隈精密機械株式会社
- E5029* DPテクノロジー・ジャパン株式会社
- W2017 THK株式会社
- W4047 株式会社テイケン
- W2066 帝国チャック株式会社
- W3101 DTR株式会社
- E4056 株式会社データ・デザイン
- W1027** TaeguTec Ltd.
- E5050 株式会社テクトレージ
- E5044 株式会社テクノア
- E4002 テクノコート株式会社
- W4080 テクノダイナミクス株式会社
- E7114 株式会社テックロック
- W2064 株式会社テック・ヤスダ
- S3083 Tebiki株式会社
- WA025 有限会社デュプリン・ジャパン・リミテッド
- E6033 テラスレーザー株式会社
- E4047 テラル株式会社
- S3090* デンカエレクトロニクス株式会社
- W4020 天龍製鋸株式会社
- E7013** 東亜精工工業株式会社
- S3088 東海パネ工業株式会社
- E4010 株式会社東京エンジニアリング
- W4053* 東京オイルアナリスト株式会社
- W3024 東京オートマック株式会社
- E3042* 株式会社東京機械製作所
- E2012 株式会社東京精機製作所
- E7027 株式会社東京精密
- E1060 東京精密発條株式会社
- E1086 東京タッピングマシン株式会社
- W3114 株式会社東京テクニカル
- S3105 株式会社東京発条製作所
- E7010 東京貿易テクノシステム株式会社
- W1040 株式会社東鋼
- E1043 株式会社東振テクニカル
- E2005 株式会社東陽
- W1080 株式会社東陽(長野県)
- E1008 東洋研磨材工業株式会社
- S3016 東洋スクリーン工業株式会社
- E4004 東洋精機工業株式会社
- E7124 株式会社東陽テクニカ
- W1066** 株式会社東洋鋳工所
- W2006 ドゥリマテック株式会社
- W1069* 株式会社トーカーロイ
- W1069 株式会社トーカーロイトGK
- E7043 トーチョーマーキングシステムズ株式会社
- E3030 トーヨーエイテック株式会社
- WA028 株式会社戸田精機
- W2042 株式会社トミタ
- W3021 株式会社トヨックス
- E5012* トライエンジニアリング株式会社
- W1034** トライエンジニアリング株式会社
- E7122 トライオプティクス・ジャパン株式会社
- E5032 トランザフィルター日本株式会社
- WA027 有限会社トリオ商事
- W4053 トリプルアール株式会社
- E7044 株式会社トルネックス
- E1038 トルン株式会社
- WA017 TOWA株式会社

ナ

- E1046 株式会社ナーゲル・アオバプレジジョン
- E2026 株式会社ナイルズ・マシン
- E7013** 株式会社永井ゲージ製作所
- E5005 長島精工株式会社
- E1024 伸精機株式会社
- E1078 株式会社ナガセインテグレーション
- W2054 株式会社ナカニシ
- E1063 中日本炉工業株式会社
- E7021 株式会社長浜製作所
- W2023 中原化成工業株式会社

- E7110 株式会社中村製作所
- E5033 中村留精密工業株式会社
- W1055 株式会社ナチツールエンジニアリング
- E7036 ナトコ株式会社
- W4022* ナニワ研磨工業株式会社
- W4022 ナニワトイン株式会社
- W2029 株式会社ナベヤ
- W2044 銅屋パイテック会社
- W2045 株式会社ナベル
- E7139 株式会社ナンゴ
- E7006 新潟精機株式会社
- E5011 株式会社ニイガタマシンテクノ
- E7125 新潟理研測範株式会社
- W4029 株式会社ニートレックス
- W4060 株式会社ニコニ
- E7073 株式会社ニココン
- W3113* ニシキ産業株式会社
- E2046 西島株式会社
- W4026** 西日本貿易株式会社
- S3044 株式会社日刊工業新聞社
- W2063 日機株式会社
- W2021 株式会社日研工作所
- E7146 日工機材株式会社
- W2031* 日鋼YPK商事株式会社
- E7099 ニコニコ株式会社
- E6016 日章機械株式会社
- S3104 株式会社ニッシン
- E3041 株式会社日進機械製作所
- W1057 日進工具株式会社
- S3062 日進ゴム株式会社
- E1045 株式会社日進製作所
- W3110 株式会社ニッセイ
- W4069 日東工業株式会社
- E7151 日東工業株式会社
- E5040 日東商事株式会社
- E4025 日藤ポリゴン株式会社
- W1038 日本アイ・ティ・エフ株式会社
- W2036 日本シュナーベルガー株式会社
- W2026 日本精工株式会社
- S3073 日本製紙クレシア株式会社
- W4015 日本ダイヤモンド株式会社
- E3037 日本タッパー株式会社
- S3040 日本タングステン株式会社
- W2058 日本ベアリング株式会社
- E2032 ニデックオーケー株式会社
- E2031 ニデックマシンツール株式会社
- E5002 株式会社日本アルシス
- E7100 日本ヴィジョン・エンジニアリング株式会社
- W1007 日本ウォルフラム株式会社
- S3021 日本エスケイエフ株式会社
- W2028 日本オイルポンプ株式会社
- W2018 日本オートマチックマシン株式会社
- E7065 日本OPC協議会
- E7004 日本キスラー合同会社
- W1009 日本金鷲硬質合金株式会社
- W3083 株式会社日本クラビス
- E1081 日本クリンゲルンベルグ株式会社
- E7001 日本ゲーリック株式会社
- S3011 日本工業出版株式会社
- S3060 日本工作機械販売協会
- W1031 日本コーティングセンター株式会社
- S3068 日本ジッパーチュービング株式会社
- W2027 日本ジャバラ株式会社
- E4045 日本スピードショア株式会社
- S3028 日本精機株式会社
- WA031 日本精密機械工作株式会社
- E7013 日本精密測定機器工業会
- S3082 日本精密電子株式会社
- E1017** 株式会社日本切断研究所
- E7051 日本ツクリダス株式会社
- S3075 日本電子工業株式会社
- W1030 日本特殊合金株式会社
- W2020 日本トムソン株式会社
- W4066 株式会社日本ビスコ
- E5032* 日本ホートン株式会社
- E7030 日本メカケミカル株式会社
- S3027 株式会社ニュースダイジェスト社
- W2035 株式会社ニューストロング
- W4032 ニューレジストン株式会社
- W4043 布目電機株式会社
- S3041 株式会社ネオフレックス
- E7067* 株式会社ネクストサイエンス
- W1075 株式会社ノア
- W1013 ノガ・ウォーターズ株式会社
- S3091 ノック株式会社
- W1025 株式会社ノアロイ
- W2031 株式会社野村製作所
- E5053 野村DS株式会社
- W4024 ノリタケ株式会社

ハ

- E1030* パーカー熱処理工業株式会社
- E2009** ハースファクトリーアウトレット ジャパン
- E7069 ハイテック株式会社
- W2051 ハイウィン株式会社
- W2005 バイオニア貿易株式会社
- W3055 株式会社ハイカット
- E1069 HEICO
- E1073 バイストロニックジャパン株式会社
- E2009** 株式会社ハイタック
- W4067 株式会社ハイダック
- E7123 ハイデンハイン株式会社
- E5027 ハイマージャパン株式会社
- E7138 株式会社ハイロックス
- E2035 ハイソフ・ジャパン株式会社
- E5025 HAWEジャパン株式会社
- E4038 株式会社白山機工
- W2022 バスカル株式会社
- E1044 株式会社長谷川機械製作所
- S3042 株式会社初田製作所

- E7117 パナソニックFSエンジニアリング株式会社
- E3026 浜井産業株式会社
- S3079 株式会社速水マシンツール
- WA004 株式会社バル
- E5014* 株式会社ハル技術研究所
- E7079 パルステック工業株式会社
- S3063 株式会社ビーアンドケイ
- E7140 ビーアンドシー株式会社
- W2041 株式会社ビーシーテック
- W1051 ビーティーティー株式会社
- E6010 bpジャパン株式会社
- E2006* 光商工株式会社
- W2014 株式会社菱小
- E3042* 株式会社ビゼスト
- W3062 株式会社ビック・ツール
- E4034** 株式会社HIPA Photonics Japan
- E7067 枚岡合金工具株式会社
- E1030 株式会社広築
- W2004 株式会社ファーステック
- E4010* 株式会社ファースト
- E6032 株式会社ファースト技研
- E5006 株式会社ファクト
- E7041 株式会社Fact Base
- E7008 ファゴール・オートメーション・ジャパン株式会社
- S2001 ファナック株式会社
- E1062 株式会社ファブエース
- E7119 ファロージャパン株式会社
- E2027 Physical Photon株式会社
- E7136 株式会社フィジックステクノロジー
- E2013 フォルマー・ジャパン株式会社
- E6001 福田貿易株式会社
- W3049 フクダ精工株式会社
- E6021 株式会社FUJII
- E7040 株式会社富士エーアイプレジジョン
- E1071 株式会社富士機工
- E7141 株式会社不二機販
- W3056 富士元工業株式会社
- W4010 藤工業株式会社
- E4033 株式会社不二越
- W1056 株式会社不二越
- E3031 フジ産業株式会社
- E1032 不二商事株式会社
- W1019 富士精工株式会社
- E7142 株式会社不二製作所
- W1047 富士ダイス株式会社
- E7020 フジツール株式会社
- E4012 富士電子工業株式会社
- W1070 フジBC技研株式会社
- E1002 富士ホーニング工業株式会社
- E1007 藤本油化株式会社
- W2043 二村機器株式会社
- E8002 フックスジャパン株式会社
- E1017 フナソ株式会社
- E3021 株式会社プライオリティ
- E6044 ブラザー工業株式会社
- E6027 ブラザー・スライスループ・ジャパン株式会社
- E1061 株式会社フリーベアコーポレーション
- E1019 株式会社ブルー・スターR&D
- E7132 ブルーム・ノボテスト株式会社
- E7111* ブルカージャパン株式会社
- WA029 古川精機株式会社
- W1025 フルサト・マルカホールディングス株式会社
- E1067 プレス株式会社
- E3042* プレミアエンジニアリング株式会社
- E6045 株式会社フロージャパン
- E5045 株式会社ブロードリーフ
- W3033* 株式会社プロスト
- W3097 株式会社プリ
- E4008 株式会社平安コーポレーション
- E1006 平和テクニカ株式会社
- E7116 ヘキサゴン・メトロロジー株式会社
- E7023 ベクトリックス株式会社
- E5019 ベッコフオートメーション株式会社
- W3031 株式会社ベッセル
- E7091 株式会社ベトロプラン
- W3113* 株式会社ベルブルー
- E4043 豊和工業株式会社
- E4049 ホーコス株式会社
- W2025* 株式会社HORIKOSHI
- E1036 株式会社ホリテック
- E7050 ポリテックジャパン株式会社
- E7024 ポリウムグラフィックス株式会社
- W1002 本多プラス株式会社
- E1026 株式会社本間製作所

マ

- E7107 マーボス株式会社
- E7011 マール・ジャパン株式会社
- S3068* 株式会社micro-AMS
- WA030 株式会社マイスター
- WA030 株式会社マイツール長野
- W4076* 株式会社前田技研
- W4076 株式会社前田シェルサービス
- W3113* 株式会社牧製作所
- E1049 牧野フライス精機株式会社
- E3034 株式会社牧野フライス製作所
- E7113 株式会社マグネスケール
- W1028 マクロイ工業株式会社
- E7087 株式会社マザーツール
- E5043 株式会社マシソル
- W4071 株式会社マツイ
- E3019 株式会社松浦機械製作所
- W1006 株式会社松岡カッター製作所
- E1042 株式会社松田精機
- E3039 マツモト機械株式会社
- W2055 松本機械工業株式会社
- E3039* マツモト産業株式会社
- E2009** マパール株式会社
- E1020 株式会社豆蔵
- WA016 丸一切削工具株式会社

- E7020* 株式会社マルイテクノ
- E1082 株式会社丸栄機械製作所
- W3113* 丸正精工株式会社
- W3111 丸紅エレクトロニクス株式会社
- E7085 丸紅情報システムズ株式会社
- W1046 マンヨーツール株式会社
- W2010 三木ブリー株式会社
- E1003 ミクロン精密株式会社
- W4050 株式会社ミスホ
- W1029 瑞穂工業株式会社
- E7105 三鷹光器株式会社
- E7013* 株式会社三鷹精工
- W4040 三井研削砥石株式会社
- WA022 有限会社三井刻印
- E3033 三井精機工業株式会社
- E2042 株式会社三井ハイテック
- E6002* 三井物産マシンテック株式会社
- S3096* 三井物産マシンテック株式会社
- E7131 株式会社ミツトヨ
- E6024 株式会社光畑製作所
- E3020 三菱商事テクノス株式会社
- S2002 三菱電機株式会社
- W1054 三菱マテリアル株式会社
- W2056 三星工業株式会社
- E7042 株式会社三星製作所
- S3076 有限会社三矢工業
- E6014 株式会社ミナミダ
- WA018 ミニター株式会社
- S3031 ミネベアミツミ株式会社
- WA034 宮川工業株式会社
- E4052 ミロク機械株式会社
- W1066 株式会社ムラキ
- E6019 村田機械株式会社
- E6019* 村田ツール株式会社
- E6019* ムラテックCCS株式会社
- E7049 ムラテックフロンティア株式会社
- S3080 明光産業株式会社
- W3113* 有限会社名南機械製作所
- E1001 株式会社メクトロン
- E7094 株式会社メトロール
- E7120 株式会社メトロテック
- S3089 株式会社目名製作所
- E7068 株式会社モアソフジャパン
- S3045 株式会社ものづくりレビュー
- W3113* 株式会社森齒車製作所
- S3017 モリマシナリー株式会社
- W1059 株式会社MOLDINO

ヤ

- E5013 安田工業株式会社
- W4045 柳瀬株式会社
- W1053 矢野金属株式会社
- E7129 山口産業株式会社
- E5037 株式会社ヤマザキ
- E6011 株式会社山崎技研
- E5001 ヤマザキマザック株式会社
- E4045* 株式会社ヤマシタワークス
- E6038 株式会社山善
- W3113* 株式会社山田製作所
- W2039 山田マシンツール株式会社
- E7019 株式会社山本科学工具研究所
- W1074 株式会社彌満和製作所
- E2036* UEL株式会社
- W4034 株式会社ユーコー・コーポレーション
- E1088 株式会社ユーロテクノ
- E7111 株式会社ユーロテクノ
- W2053 ユキワ精工株式会社
- E1005 ユシロ化学工業株式会社
- W1015 ユニオンツール株式会社
- E7056 ユニバーサルロボット
- E7108 ユニパルス株式会社
- W3095* ユニマテック株式会社
- E1053 吉川鐵工株式会社
- E5023 ヨシカワメイブル株式会社
- W3104 株式会社淀川電機製作所
- E3042 米沢工機株式会社

ラ

- E2003 ライスハウアー株式会社
- W1064 株式会社ライノス
- E2037 有限会社ランテクノロジー
- E3023* RAMPF Group Japan株式会社
- W2007 理研精機株式会社
- W3059 株式会社リスモツール
- E2033 リタル株式会社
- W3112 リックス株式会社
- W2025 リューベ株式会社
- W1022 菱高精機株式会社
- E2009** 株式会社リンスコネク
- W1008 有限会社鈴峰
- E4030 レーザ技術サービス株式会社
- WA008 レゴフィックスジャパン株式会社
- W4033 株式会社レシトン
- E7026 レニショー株式会社
- WA024 ロームヘルドホルダー株式会社
- S3074 ローレルバンクマシン株式会社
- E2034 碌々スマートテクノロジー株式会社

ワ

- E2008 YKT株式会社
- W1004 YG-1ジャパン株式会社
- E2018 株式会社和井田製作所
- E7002 渡辺精密工業株式会社

(*)共同出展者 (**)内部出展者



出展者一覧(海外)・AM Area 出展者一覧

A ~ E

- E5052** ABSOLENT AB
- W3079 ACCU-CUT INDUSTRIAL CO., LTD
- E2008** Affolter Group SA
- E1088* AGATHON AG
- S3038 AHG PRECISION INDUSTRY LTD.
- E2006* AirLoc Ltd.
- W1075** ALESA AG
- E3003** Alfred H. Schütte GmbH & Co. KG
- E1088* Alicona Imaging GmbH
- E7111* Alicona Imaging GmbH
- W1075** APPLITEC MOUTIER SA
- W4061 ARYUNG MACHINERY IND. CO., LTD.
- W3100 AUTOCAM TECHNOLOGY CO., LTD.
- S3034 AUTOGRIP MACHINERY CO., LTD.
- S3007 BAOTN INTELLIGENT LUBRICATION TECHNOLOGY (DONGGUAN) CO.,LTD
- W4038 Beijing Grish Hitech Co., Ltd.
- E4001 Beiping Machine (Zhejiang) Co Ltd
- S3090 BEISIT ELECTRIC TECH (HANGZHOU) CO., LTD
- E1089* Blohm Jung GmbH
- E5052** BLUE PHOTON Technology & Workholding Systems LLC
- W1066** botek Präzisionsbohrtechnik GmbH
- W4059 Brinkmann Pumps, K.H. Brinkmann GmbH & Co KG
- E2049** BUFFOLI TRANSFER S.p.A.
- W4055 Camel Precision Co., Ltd.
- S3050 Campower International Precision Machinery Co., Ltd
- W3022 Carmex Precision Tools LTD
- E2008* Cary SA
- W4083-8 CHAIN HEADWAY CO., LTD.
- E7115 Champ Casting Industry Co., Ltd.
- W3076 CHAMPDIA Co., Ltd
- E7137 Changchun Rongde Optics Co.,Ltd.
- W3007 Changzhou North Carbide Tool Co.,Ltd
- E6040 CHANGZHOU SHUANGYANG TOOLS CO LTD
- S3002 Chen Ying Oil Machine Co., Ltd.
- W4083-6 CHENG FENG CASTING FACTORY CO., LTD.
- W2065* Chengdu Kilowood and CLT Co.,Ltd.
- W3068 Chengdu Metcera Advanced Materials Co., Ltd
- E3007 CHIA LERN CO., LTD.
- S3036 CHIAO FONG MACHINERY CO.,LTD.
- E4003-3 CHEN WEI PRECISE TECHNOLOGY CO., LTD.
- E2047 CHIN HUNG MACHINERY CO.,LTD
- E3038 China Chamber of Commerce for Import and Export of Machinery and Electronic Products
- W3082 CHINA TAIZHOU SHAOHSI TOOLS CO.,LTD
- E4032 CHING TAI COG MACHINE CO., LTD.
- W3047 CHN-TOP SCI & TECH CO.,LTD
- E4014 CHUNG PU LASER Co.,LTD.
- E4031 Cogentech International Ltd.
- S3005** Conprofe Technology Group Co., Ltd.
- W3086 CORTOOL MANUFACTURING GROUP
- E3016 COSEN MECHATRONICS CO., LTD
- E2008* Crevoisier SA
- S3012 CSC BEARING CO LTD
- W3017 Da Shiang Automation Industrial Co., Ltd
- W4083-14 Derstrong Enterprise Co., Ltd.
- W4004 deta International
- W3103 detron Machine Co., Ltd.
- W3027 DHF Precision Tool Co., Ltd.
- S3049 DI CHUN IRON WORK CO., LTD.
- W4083-5 DI KU DIAMOND ENTERPRISES CO., LTD.
- W4006** DINE,INC
- W1066** DIXI Polytool S.A.
- W1072** DONG SUNG LASER CO.,LTD.
- E6031 DONG YING HYSEN WATER PROCESSING TECHNOLOGY CO.,LTD
- W3014 DONGGUAN MING ZE HARDWARE MACHINERY CO., LTD.
- W3008 DONGGUAN ZHONGJI RONGYAO METAL CUTTING TOOLS CO.,LTD
- E2003* Dontyne Systems Limited
- E1033 DURMAZLAR MAKINA SAN VE TIC A.S
- W4001 DYC Co., Ltd.
- E2006* e+a Elektromaschinen und Antriebe AG
- W4083-11 ECHAINTOOL PRECISION CO., LTD.
- E2024* Ernst GROB AG
- E2006 Esco S.A.
- E5038 Essor Precision Machinery Inc.
- W3009 EST TOOLS CO.,LTD
- E1089** EWAG I Fritz Studer AG EWAG Zweigniederlassung
- S3064 EXACT MACHINERY CO LTD
- E5052** FILTERMIST INTERNATIONAL LTD.
- E1066 Fladder Danmark A/S
- W3026 Fodbits (Weihai) Precision Technology Co., Ltd.
- E4020 Foshan Huibaisheng Laser Technology Co Ltd
- E5052** Franz KESSLER GmbH
- E1089* Fritz Studer AG
- W4016 FUNIK ULTRAHARD MATERIAL CO.,LTD.
- W4048 Fuqing Rihon Abrasives Co Ltd
- W4028 Fuqing RongMa Grinding Wheel Co, Ltd
- W3058 Ganzhou Grandsea Cemented Carbide Co.,Ltd
- E2024* Gehring Technologies GmbH & Co. KG
- W3042 GEMtool Co., Ltd.
- W3111** Georg Schlegel GmbH & Co. KG
- W3115 German Tech Precision Manufacturing Co., Ltd
- E2024* GFU Maschinenbau GmbH
- S3054 GIFU ENTERPRISE CO.,LTD
- S3001 GIZIN INTERNATIONAL CO., LTD.
- S3053 GONG YANG MACHINERY CO., LTD
- E6037 Grind Master Machines Pvt. Ltd.
- E4003-2 GRINTIMATE PRECISION INDUSTRY CO., LTD.
- S3048 GSA TECHNOLOGY CO., LTD.
- S3052 G-TEN Precision Co.,Ltd.
- S3100 Guangdong Autofor Precision Intelligent Technology Corporation Co.,Ltd
- W3072 Guangdong DaoFu Precision Technology Co Ltd
- S3023 Guangdong Hippoc Technology Co Ltd
- W3078 GUANGDONG HUASHENG NANOTECHNOLOGY CO LTD
- E6015 Guangdong Ligong Technology International Co., Ltd.
- E1064 Guangdong Longxin Laser Intelligent Equipment Co., Ltd
- E7135 Guilin Gemred Sensor Technology Co., Ltd
- W3020 Guohong Tools System (Wuxi) Co.,Ltd.
- E4024 GWEIKE TECH CO LTD
- W3088 HABOR PRECISION INC.
- E4003-5 HAN JIE MACHINERY CO., LTD.
- E7101 Hangzhou Deepvision Technology Co, Ltd.
- E1011 Hann Kuen Machinery & Hardware Co., Ltd.
- W2003 HANSUNG GT Co.,Ltd
- E5052** Hantop Intelligence Tech.
- E7096 Hanyang Filters and Engineering Corp.
- E7150 Harbin Pioneer M&E Technical Development Co., Ltd

- E2008** Hardinge Kellenberger AG
- E4037** Hardinge Kellenberger AG
- W4017 HENAN BELLO NEW MATERIAL CO., LTD
- W3010 Henan CA-Diamond Material CO.,LTD.
- W3077 Henan E-Grind Abrasives Co Ltd
- W3052 Henan Lerui Powerise Tools Co., Ltd.
- W4028** HENAN XINYUAN SUPERHARD MATERIAL CO LTD
- S3094 Henan Yuxing Carbon Material Co.,Ltd.
- W4083-16 HER BERT ENTERPRISE CO., LTD.
- W3023 HeYe Special Steel Co.,Ltd
- W3033 HG TECHNOLOGY CO., LTD.
- W1075** Hommel+Keller Präzisionswerkzeuge GmbH
- W3036 HONSBURG METALLSAEGEN GMBH
- W1065 HORN, Paul Horn GmbH
- W3090 HOSEA PRECISION CO., LTD.
- E1068 HSG LASER CO.,LTD.
- E5048 HTT Tiefbohrtechnik GmbH
- W3030 HUNAN BOYUN-DONGFANG POWDER METALLURGY CO.,LTD
- W4083-2 HWE DER MACHINERY AND HARDWARE PTY LTD.
- W1066** IBAG Switzerland AG
- W3111** icotek GmbH & Co.KG
- WA002** IHI Bernex AG
- WA002** IHI Hauser Techno Coating B.V.
- W4083-10 IKEHARA CO., LTD.
- W3084 IL JIN TOOL TECH CO.,LTD
- E2008** IMM Maschinenbau GmbH
- W3044 INCOS INC
- E2008** INDEX-Werke GmbH & Co. KG Hahn & Tessler
- W3041 IND-SPHINX PRECISION LTD. (Unit-B)
- S3055 INNGRIT INC.
- E7083 Innovatia Metrology
- E1089** Irdp AG
- E5017 ISBE GmbH
- W1034** IWATA TOOL (THAILAND) CO., LTD.
- E7029 Jeil Mtech Co.,Ltd
- W3094 JETON R/D & MFG. INC
- W3092 JFLO MACHINE TOOL ACCESSORIES
- W3096 Jiachen Precision Co., Ltd.
- W3109 Jiangsu Swift Machinery Technology Co Ltd
- E6047 Jiangsu Weize Intelligent Technology Co.,Ltd.
- E1070 Jiangyin Aupu Machinery co., Ltd.
- W3065** JIN LI CHENG CUTTINGTOOL Co., Ltd.
- E4028 Jinan Bodor CNC Machine Co Ltd
- W3099 JINAN XINLEI PRECISION MACHINERY CO LTD
- E6009 JINN FA MACHINE INDUSTRIAL CO., LTD.
- E5051 JIUH-YEH PRECISION MACHINERY CO., LTD.
- E4003-1 JOEN LIH MACHINERY CO., LTD.

K ~ O

- E1046** KADIA Produktion GmbH & Co
- W4026 KAIFENG BESCO SUPERABRASIVES CO LTD
- E3003** Kelch GmbH
- W3054 Kexian Precision Tools (Zhejiang) Co.,Ltd.
- W3093 KEYARROW (TAIWAN) CO., LTD.
- W4065 King Shang Yuan Machinery Co., LTD
- S3009 Kunshan Omatei Mechanical And Electrical Equipment Co., Ltd.
- E7061 LANTEK SHEET METAL SOLUTIONS, S.L.U.
- E7064 Leading Intelligent Equipment (Qingdao) Group Co.,Ltd.
- E5052** LESTOPREX AG.
- W3069 Liaocheng Super New Material Co., Ltd
- E4040 Liebherr-Verzahntechnik GmbH
- S3023** LIFENG PRECISION TOOLS (ZHEJIANG) CO.LTD
- E7099** Linnenbrink Technik Warburg Maschinenbau GmbH
- E4029 LIUJY HSHNG CO., LTD.
- E2045 LNS Management SA
- W1066** LOADPOINT LTD.
- E5052** LOCKWOOD PRODUCTS, INC.
- S3024 Luoyang Hongyuan Bearing Technology Co Ltd
- W4048 LUOYANG RUNBAO SUPER ABRASIVES CO.,LTD
- W2008 M.T. S.r.l.
- E1089** Mägerle AG Maschinenfabrik
- E2008** Mägerle AG Maschinenfabrik
- E7052 Masterlink
- E3043 Matrix Precision Co., Ltd
- E1027 Maxphotonics Co.,Ltd.
- S3099 METALEX 2024
- E5052** MicroCentric Corporation
- S3065 MicroLab Precision Technology Co., Ltd.
- E4009 Mikron Switzerland AG, Agno
- S3081 MING TAI MACHINERY INDUSTRIAL CO., LTD.
- E6035 ModuleWorks GmbH
- S3037 Mongtec Precision Inc.
- E6046** MVM s.r.l.
- E5052** Nakanishi Jäger GmbH
- E1023 Nanjing Prima CNC Machinery Co.,Ltd.
- W1066** NINE9
- E3035 NINGBO BLIN MACHINERY CO LTD
- E1057 NUMALLIANCE
- E1046** O.ERRE.PI.
- S3014 OKADA INTELLIGENCE (JIANGSU) CO LTD
- W3035 OKE PRECISION CUTTING TOOLS CO LTD
- W1066** OSBORN GmbH
- E7031 Ottenlux Lighting Technology Co.,Ltd

P ~ T

- E5010 PALMARY MACHINERY CO., LTD.
- W3089 PARKSON WU INDUSTRIAL CO., LTD
- E6034 Parv Metal Processing Co.
- W4073 PASCAL SYS&ENG. CO., LTD.
- E2008** PEMTEC SNC
- E2039 PENTA LASER (ZHEJIANG) CO LTD
- E2048 PERFECT MACHINE CO., LTD.
- E2025 PerformCoat Europe AG
- W1066** PERON SPEED INTERNATIONAL SRL
- E2008** PLATIT AG
- E4037** Posalux S.A.
- S3051 PRECISION MOTION INDUSTRIES
- E1088** PRECITRAME MACHINES SA
- E2046** Profilroll Technologies GmbH
- E3003** ProGrit GmbH
- E2008** Quality Vision International Inc
- E1088** Rene Gerber AG
- W3081 RI HSIUNG PRECISION TECH CO., LTD.
- E2008** Riello Sistemi Digital Transfer Srl
- E3003** Roeders GmbH
- E2008** Rollomatic SA
- E4003-6 RONG JHEN TECHNOLOGY CO., LTD
- S3057 ROYAL PRECISION TOOLS CORPORATION
- W4083-9 SAFEWAY MACHINERY INDUSTRY CORPORATION
- E7039 SaiSi Machine & Electric (Zhejiang) Co., Ltd
- S3039 Samchully Machinery Co., Ltd
- E4022 SAMURAI SAW WORKS CO.,LTD

- W4083-15 SANJET INTERNATIONAL CO., LTD.
- E4037** Sarix S.A.
- E1089** SCHAUDT MIKROSA
- W4013 SEA SHORE DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.
- W4068 SEOAM MACHINERY INDUSTRY, CO.,LTD.
- S3032 SGO CO., LTD.
- E7071 SHAN DONG NANO ADVANCED MATERIALS TECHNOLOGY CO., LTD
- S3013 SHANDONG OUNUOWEI NUMERICAL CONTROL TOOL CO.,LTD
- Shandong Shanneng Precision Machinery Co., Ltd
- W3106 Shanghai Hezuan Technology Co.LTD
- W3053 Shareate Tools Ltd
- W3080 Shenyang Wemust Saws Industrial Corporation Ltd
- S3030 Shenzhen Danfoo Technology Co., Ltd.
- E1025** Shenzhen Han's Robot Co., Ltd.
- E4034 Shenzhen JPT Opto-Electronics Co Ltd
- S3107 Shenzhen Q-mao Precision Technology Co., Ltd.
- W3037 SHENZHEN YUBAO DIAMOND TOOLS CO.,LTD
- E7148 SHINING 3D Tech Co.,Ltd
- W4083-3 SHIN-YAIN INDUSTRIAL CO., LTD.
- W1066** SHIN-YAIN INDUSTRIAL CO., LTD.
- E3011** Sir meccanica S.p.A.
- W4027 SISA ABRASIVES CO LTD
- E1031 SOCO Machinery Co.,Ltd.
- S3005 SoTool Manufacturing Co Ltd
- W3057 SPEED TIGER PRECISION TECHNOLOGY CO.,LTD.
- W3001 STAR TOOL CO.,LTD.
- W4083-17 SUPER AIR COMPRESSOR TECHNOLOGY CO., LTD.
- E5036 Suzhou Haller Intelligent Equipment Co.,Ltd.
- W3091 Suzhou Huajiede Manufacturing Co Ltd
- E5052** SwissChuck AG
- E2002** system 3R International AB
- S3047 TAI CHONG CO., LTD
- E4003-9 Taiwan External Trade Development Council
- W4083-18 Taiwan External Trade Development Council
- E6013 Taizhou Xiongfeng Machinery Co., Ltd.
- E5052** TALLERAS MYL S.A.U.
- W4083-12 TANKO ENTERPRISE CO., LTD.
- W3006 Tarfilm Hi-tech Co., Ltd.
- E1046** TBT Tiefbohrtechnik GmbH & Co
- W4009 TECH WAY ADVANCED MATERIALS CO.,LTD
- W3028** TEC-SPIRAL ENTERPRISES TOOLS CO., LTD.
- S3071 TE-SHIN Precision Technology CO., LTD.
- S3097 TEZMAKSAN ROBOT VE OTOMASYON TEKNOLOJILERI SAN. TIC A.S
- W4083-1 THETA PRECISION CO., LTD.
- E4003-8 TIAN FENG HYDRAULIC CO., LTD.
- W3106** TIANGONG OSTTE (SHENZHEN) INDUSTRIAL TECHNOLOGY CO.,LTD
- S3070 Tien Ding Industrial Co., LTD
- S3004 TIM GROWING BEARING (ZHEJIANG) CO LTD
- S3035 TJR Precision Technology Co., Ltd
- W3063 TnC SHARK Co.,LTD
- E4003-4 Tongtai Machine & Tool Co., Ltd.

U ~ Z

- E7128 umati (c/o VDW-Forschungsinstitut e.V.)
- W3032 UNION MATERIALS CORP.
- E1089 United Grinding Group Management AG
- E2008** USACH
- W1034** UYAR GmbH & Co. KG
- E5052** Vandurit GmbH
- W4083-7 VERNAL MANUFACTURING & ENGINEERING CO., LTD.
- S3056 VERTEX MACHINERY WORKS CO., LTD
- E6035** VoluMill by ModuleWorks & VoluTurn by ModuleWorks
- E3003** Wagner Tooling Systems Baublies GmbH
- E2018** WAIDA PRECISION MACHINERY CO., LTD.
- W4054 WALRUS PUMP Co., Ltd.
- E1089** Walter Maschinenbau GmbH
- W4064** Wanner Engineering, Inc.
- E4005 Weihai Huadong Automation Co.,Ltd
- E2028 WEISS MACHINERY CO LTD
- E3003** Werth Messtechnik GmbH
- E6002 WFL Millturn Technologies GmbH & Co. KG
- WA006 WIDIN CO.LTD
- E1013 WIKUS-Sägenfabrik, Wilh. H. Kullmann GmbH & Co KG
- W3095 WILHELM KOENIG MTM
- E1088** WILLEMIN-MACODEL SA
- W4083-4 WINSON MACHINERY CO., LTD.
- E7025 Wintech Automation Co., Ltd.
- E5003 WinTool AG
- E1010 Wuhan Heavy Duty Machine Tool Group Corporation
- E1029 WUHAN NEWWISH TECHNOLOGY CO.,LTD
- E2017 Wuhan Raycus Fiber Laser Technologies Co Ltd
- E3012 Wuxi Qingyuan Laser Technology Co Ltd
- E2008** WYLER AG
- S3006 Xi an Dong Long Precision Tools Co Ltd
- W4011 Xiamen Chiaping Diamond Industrial Co., LTD.
- W3043 XIAMEN HJ CARBIDE TECHNOLOGY CO LTD
- S3008 XUANCHENG TENO AUTOMATIC EQUIPMENT CO.,LTD
- E4035 YANGZHOU DEVELOPPING IMP&EXP CO.,LTD
- E3042** YEONG CHIN MACHINERY INDUSTRIES CO., LTD.
- W1075** YESTOOL Co.,Ltd
- W3105 YEU LIAN ELECTRONICS CO., LTD.
- W4083-13 YIH TROUN ENTERPRISE CO., LTD.
- E4003-7 YONG JU PRECISION TECHNOLOGY CO., LTD.
- W3064 YU WEI INDUSTRIAL CO., LTD
- E7093 YUAN JUN FONG CASTING CO., LTD
- E6039 Yuan Jun Industry
- W3107 Yuan Yi Chang (YYC) Machinery Co., Ltd.
- W3018 ZHEJIANG GEM-CHUN PRECISION INDUSTRY CO., LTD.
- E6004 Zhejiang IVKE Machinery & Technology Co.,Ltd.
- E4042 ZHEJIANG MEIRI INTELLIGENT MACHINERY CO LTD
- S3025 ZHEJIANG SAN OU MACHINERY LIMITED COMPANY
- W3011 ZHEJIANG SHANGYOU TOOLS CO LTD
- E5039 Zhejiang Taixing Intelligent Equipment Co.,Ltd
- E2011 Zhejiang Xinxing Tools Co., LTD.
- W3012 ZHEJIANG YOUNIO TOOLS CO LTD
- W3005 Zhejiang Zhiguang Precision Tools Co.,Ltd.
- W3029 ZHENGZHOU DIAMOND PRECISION MANUFACTURING CO.,LTD.
- W3028 Zhengzhou Sino-Crystal Diamond Co Ltd
- W3038 ZHENGZHOU ZHONGNAN JETE SUPERABRASIVES CO., LTD.
- W3087 ZHENGZHOU ZZDM SUPERABRASIVES CO.,LTD
- W4012 Zhongye Superhard Material Co., Ltd.
- W3070 Zhuzhou Cemented Carbide Works Imp. & Exp. Co.
- W3071 Zhuzhou Huarui Precision Cutting Tools Co Ltd
- W3039 Zhuzhou Kerno Advanced Materials Co.,Ltd.
- W3013 Zhuzhou Kunrui Carbide Co.,Ltd
- W3109** Zhuzhou Sant Cutting Tools Co., Ltd.
- W3034 ZUOREN CUTTING TOOLS (SHANGHAI) CO LTD

Additive Manufacturing Area in JIMTOF2024

ア

- AM103** 株式会社アイエイアイ
- AM123 愛知産業株式会社
- AM140 APPLE TREE株式会社
- AM103* 株式会社イノテック
- AM103* イノバテスト・ジャパン株式会社
- AM116 株式会社若間工業所
- AM139 株式会社エイチ・ティー・エル
- AM144 株式会社SK Additive Innovation
- AM133 株式会社エスケープライン
- AM134 オープン・マインド・テクノロジー・ジャパン株式会社
- AM103* 株式会社小楠金属工業所

カ

- AM118 国立大学法人金沢大学人間機械創造研究室
- AM103* 兼松エレクトロニクス株式会社
- AM103* 株式会社兼松ケージーケー
- AM101 株式会社キーエンス
- AM135 株式会社キーエンス
- AM152 技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構
- AM104 株式会社キャステム
- AM143 株式会社久宝金属製作所
- AM107 株式会社クリモト
- AM147 株式会社コアテクノロジーアジア
- AM103* 株式会社コウセルジャパン

サ

- AM127 株式会社桜井製作所
- AM131 株式会社シーケービー
- AM108 シーフォース株式会社
- AM150 ShareLab
- AM111 ジェービーエムエンジニアリング株式会社
- AM103* 株式会社シマダマシンツール
- AM106** 正保鉄工株式会社
- AM119 株式会社スギノマシン
- AM117 株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン
- AM103* 株式会社そうぎょう

タ

- AM103* 大鉄産業株式会社
- AM136 大同特殊鋼株式会社
- AM112 太陽日酸株式会社
- AM106 株式会社タタ製作所
- AM149 合同会社DMM.com
- AM126 DMG森精機株式会社
- AM122 ティーケーエンジニアリング株式会社
- AM103* デルタ電子株式会社
- AM106** 東海挾範株式会社
- AM103* 東海ソフト株式会社
- AM141 公益財団法人東京都中小企業振興公社
- AM102 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
- AM121 株式会社DOHO
- AM125 株式会社トコシエ

ナ

- AM103* 株式会社ニクニ
- AM132 ニデックマシンツール株式会社
- AM128 一般社団法人日本AM協会
- AM138 日本軽金属株式会社
- AM105 日本3Dプリンター株式会社
- AM124 一般社団法人日本3Dプリンティング産業技術協会
- AM103* 株式会社日本精機
- AM113 日本電子株式会社
- AM103* 日本ホートン株式会社
- AM148 ノガ・ウォータース株式会社

ハ

- AM103* 株式会社パトライト
- AM145 株式会社原製作所
- AM129 株式会社バリュー・ファインダー
- AM142 bestat株式会社
- AM103* bestat株式会社
- AM111** 富士高周波工業株式会社
- AM109 株式会社フュージョンテクノロジー
- AM103* 株式会社日本フレードシステム
- AM114 Brule Inc.
- AM137 ヘガネスジャパン株式会社

マ

- AM103* 株式会社前田シェルサービス
- AM115 株式会社松浦機械製作所
- AM130 マツザワマシナリー株式会社
- AM103* 株式会社丸菱製作所
- AM110 丸紅情報システムズ株式会社
- S2002 三菱電機株式会社

ヤ

- AM103* 株式会社山本金属製作所

ワ

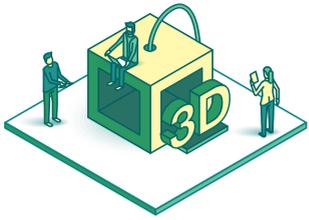
- AM103* 渡忠機械株式会社

A ~ Z

- AM153 3DEO
- AM151-1 Additive Industries
- AM103* BEIJING JINGDIAO GROUP CO., LTD.
- AM151-4 Continuum
- AM103* framag Industrieanlagenbau GmbH
- AM146 HDC Co. Ltd.
- AM103* JBS System GmbH
- AM151-3 Lumafeld
- AM103* MST Corporation
- AM151-2 PanOptimization LLC
- AM103* Wilhelm Blessing GmbH & Co. KG
- AM120 Yamaichi Precision Tools (Anhui) Co.,Ltd.

(*)共同出展者 (**)内部出展者

国内出展者…五十音順、海外出展者…アルファベット順



ここまで来た！ 国産 3D プリンターの社会実装

The Latest Status of Social Implementation of Japanese 3D Printers

次世代 3D 積層造形技術総合開発機構 (TRAFAM) 理事長 近畿大学 名誉教授 京極秀樹

Hideki Kyogoku

Chairman, The Technology Research Association for Future Additive Manufacturing (TRAFAM)

Professor Emeritus, Kindai University

最近の積層造形 (AM) 技術の進歩は目覚ましく、金属 3D プリンターは粉末床溶融結合 (PBF) 方式だけでなく、ほかの方式の装置も実用化されてきている。それとともに国産の 3D プリンター開発も行われ、国内企業では実用製品への適用が着実に進んでいる。

Lately, Additive Molding (AM) technologies have shown marked advancement, with not only powder bed fusion (PBF) systems but also other types of 3D metal printers becoming practical. Alongside this, Japanese 3D printers are being developed, and Japanese companies are steadily progressing towards the application of these technologies to utility products.

モノづくりに革新を起こす AM 技術

AM 技術は従来の加工法では不可能な形状や機能を持つ製品を製造できる。かつデジタル・マニュファクチャリング技術であることから、モノづくりに革新を起こす新たな加工法として欧米や中国を中心に急速に適用が進んでいる。

独 AMPower の資料によると、2027 年度における金属 3D プリンターの 카테고리別のシェアは PBF 71%、指向性エネルギー堆積法 (DED) 20%、バインダージェット (BJT) 5% で、PBF が主流であり、DED と BJT が伸びると予測されている。

PBF は海外では航空宇宙分野が主力であるため装置の大型化、造形の高速度など装置の高機能化が進んでいる。また、造形品の品質の安定化と保証のためにインプロセスモニタリング・フィードバック技術の開発が求められている。

DED は熱源としてレーザーだけでなく電子ビームやアーク、供給材料として粉末だけでなくワイヤも使われており、これらを組み合わせた装置が増え、実用化されている。BJT は自動車分野の小型部品の大量生産用として期待されており、鑄造の代替技術としての技術開発も行われている。

このように、金属 3D プリンターはカテゴリの選択肢が増えてきており、これに伴って航空宇宙分野からエネルギー・産業機器分野、自動車分野などへと適用分野が広がってきている。

国産 3D プリンターの社会実装進む

国産の金属 3D プリンターは、2002 年に松浦機械製作所が PBF と切削機能を持つハイブリッド型装置を開発して以来、長い間開発されてこなかった。

2017 年に経済産業省により技術研究組合次世代 3D 積層造形技術総合開発機構 (TRAFAM) が設立され、レーザー大型 PBF 装置は松浦機械製作所、電子ビーム PBF 装置は多田電気と日本電子、レーザー大型 DED 装置は東芝機械 (現芝浦機械) と三菱重工工作機械 (現ニデックマシンツール) によって計 5 機種開発されたほか、TRAFAM 以外の国内メーカーからも PBF および DED 装置が実用化された。

これらは国内企業にも導入され、実用製品に適用されてきている。加えて、プロジェクトで大型・高速造形可能な砂型造形用の BJT 装置もシーメットにより実用化されている。

このように、海外メーカーの汎用装置の利用だけでなく、国内メーカーによる装置開発も重要だ。今後、これにより工作機械と同様に汎用装置だけでなく専用装置の開発も可能となるだろう。加えて、AM 技術を加えた生産システムが普及した場合には、造形プロセスの前後工程で使う装置とのシステム化も容易となるため、AM 技術導入は生産システムの革新にも大きな役割を果たす。



日本電子の「JAM-5200EBM」
独自開発の長寿命カソード、ヘリウムフリー&粉末飛散防止機構「e-Shield」、電子ビーム自動調整機能を持つ PBF-EB 装置
JEOL “JAM-5200EBM”
PBF-EB system with a proprietary developed long-life cathode, helium-free and powder dispersal prevention system “e-Shield,” and automatic electron beam correction.

AM Technologies Transform Manufacturing

AM technologies can manufacture products with shapes and features that previous technologies could not achieve. Also, as digital manufacturing technologies, they are rapidly adopted, mainly in the West and China, as a new machining technique that transforms manufacturing.

According to AMPower, Germany, 3D metal printer share by category for fiscal year 2027 is projected to be 71% for PBF, 20% for directed energy deposition (DED), and 5% for binder jet (BJT), with PBF being the mainstream, while DED and BJT are anticipated to grow.

Used primarily in aerospace overseas, PBF is seeing higher-performance systems, such as larger systems and faster molding. The development of in-process monitoring and feedback technologies is also essential to stabilize and warrant molding quality.

DED employs not just lasers but electron beams and arcs as heat sources. Additionally, it uses not just powder but wires for supplied materials, resulting in the introduction of systems that combine these features. BJT is expected to support the mass production of small car parts, and technologies are being developed to replace casting.

As illustrated, 3D metal printers are beginning to offer a wider range of categories to choose from, expanding their application from aerospace to energy and industrial equipment, and automobiles.

Japanese 3D Printers' Social Implementation Gains Momentum

No Japanese 3D metal printers were developed for a long time after Matsuura Machinery Corporation developed a hybrid system in 2002 that had PBF and a cutting system.

In 2017, the Ministry of Economy, Trade and Industry established the Technology Research Association for Future Additive Manufacturing (TRAFAM), which resulted in the development of five systems: a large laser PBF system by Matsuura Machinery Corporation, electron beam PBF systems by Tada electric and Japan Electron Optics Laboratory (JEOL), and large-scale laser DED systems by Toshiba Machine (“Shibaura Machine” today) and Mitsubishi Heavy Industries Machine Tool (“NIDEC MACHINE TOOL” today). Domestic non-TRAFAM manufacturers also commercialized PBF and DED systems.

These systems have been adopted by Japanese companies and are being used in utility products. Furthermore, CMET has commercialized through a project by a large BJT system for sand molding that can manage high-speed molding.

As illustrated, system development by Japanese manufacturers is just as important as using multi-purpose systems from overseas manufacturers. This will enable the development of not just multi-purpose systems but special-purpose systems, similar to machine tools. The deployment of AM technologies will significantly contribute to the transformation of production systems because the spread of production systems with AM technologies will allow integration with systems that are used before and after molding processes.



ニデックマシンツールの「LAMDA2000」
独自に開発したローカルシールド機能とプロセスモニタリング AI フィードバック機能を持つ P-DED 積層ヘッドに回転 2 軸を持つ機構の大型 DED 装置。大型金型の補修造形に最適
NIDEC MACHINE TOOL “LAMDA2000”
A large DED system featuring a P-DED laminated head with a proprietary developed local shielding function and process-monitoring AI feedback, equipped with two rotating shafts. Perfect for large mold repairs.

East
東

1・2・3 ホール

■ 工作機械、鍛圧機械、その他関連機器



静かな歯車の生産性を最大化
クリンゲルベルグの駆動技術ソリューション

KLINGELBERG

JIMTOF2024 ハイライト

JIMTOF 2024 小間番号 E1081 (東1ホール) 会場をお待ちしております

WWW.KLINGELBERG.COM

Facebook, Instagram, YouTube, LinkedIn, Twitter icons

Organizer: **TMBA**

TMTS 2026
Taiwan International Machine Tool Show
台湾國際工作機械展

Mar. 3 - 7, 2026

台北南港展覽館

展出物
金属切削工作機械、金属成形工作機械/アクセサリ、コンポーネント、付属品、流体動力及び周辺機器/切削工具、工具保持具、工作物保持具、測定機器、試験機器/スマートマニュファクチャリングシステム、産業用ロボット、制御装置および関連ソフトウェア (CAD、CAM 等)/その他工作機械関連装置・素材・技術及び出版物

www.tmts.tw

QR Code

ホール内撮影禁止
施設内禁煙



東1ホール

会場内巡回
ジャンボタクシー
のりば

FREE!

東1ホール

YKT E2008

アマダ E1072

プレス E1067 Fladder Denmark E1066

フルサト・マルカホールディングス E1025

伸精機 E1024

HSG LASER E1068

中日本炉工業 E1063

シーケイ E1064

Guangdong Longxin Laser Intelligent Equipment

SOCO Machinery E1031

広築製作所 E1026

製作所 E1026

WUHAN NEWWISH Mac photonics E1029

エスターリンク E1028

ブルー・スター R&D E1019

豆蔵 E1020

Nanjing Pinha CNC Machinery E1023

アルゴット E1021

ファンソー E1017

NKワークス E2009

Zhejiang Xinxing Tools E2011

関東物産 E2010

Esco E2006

三宝精機 E2007

東陽 E2005

United Grinding Group Management E1089

ユーロテクノ E1088

バイストロニックジャパン E1073

オプトン E1075

澁谷工業 E1074

レコリシ E1060

東京発條精密 E1060

大峰工業 E1059

向洋技研 E1058

小森安所全機 E1056

NUMALLIANCE E1057

オーセンテック E1055

トルンプ E1035

エプラン E1036

ALPHA LASER JAPAN E1037

アステック E1015

ケミック E1016

研削研磨 E1014

WIKUS-Sägenfabrik, Wilh. H. Kullmann E1013

東京精機 工作所 E2012

フォルマー・ジャパン E2013

シュンク・ジャパン E2004

セイコーインスツル E1087

タツシニング E1086

イマハシ製作所 E1085

エバ工業 E1084

北井産業 E1083

育良精機 E1076

丸栄機械製作所 E1082

ナガセインテグレックス E1078

和井田製作所 E2018

石井善紀 E2014

原上工業 E2015

TANIGAWA E2016

Wuhan Poyous Fiber Laser Technologies E2017

ライスハウアー E2003

KLINGELBERG 日本クリンゲルベルグ E1081

アルプスツール E1080

黒田精工 E2001

GFマシニングソリューションズ E2002

SUGINO スギノマシン E1079

タカハシカイ E1048

北村製作所 E1047

メクトロン E1001

富士ホーニング工業 E1002

ミクロン精密 E1003

岩間工業所 E1054

吉川鐵工 E1053

キラ・コーポレーション E1052

近藤製作所 E1050

IRINO 入野機工 E1051

東振テクニカル E1043

長谷川機械製作所 E1044

ナーゲル・アオバプレジジョン E1046

日進製作所 E1045

サンシン E1039

高島産業 E1040

松田精機 E1042

進興製作所 E1041

Hann Kuen Machinery & Hardware

グーテンベルク E1011

協和石井 E1012

湖北プリオン E1010

東洋研磨材工業 E1008

平和テックニカ E1006

藤本油化 E1007

三輪鉱油 E1005

化学工業 E1004

工業会インフォメーション 日本精密機械工業会

工業会インフォメーション 日本鍛圧機械工業会

(2F)

N

オリジナルメーカーによる

再製造

内面研削盤

Before After

東1ホール E1051

IRINO 入野機工株式会社

WEB <https://irinokiko.co.jp>

TEL 046-874-7444 FAX 046-874-7911

世の中にな
「すごい!」をつくる

Creating SUPER! TECHNOLOGY Ever

SUGINO 株式会社スギノマシン

E1079 / AM119

東1ホール EAST 1HALL 南1ホール SOUTH 1HALL

ホール内撮影禁止
 施設内禁煙



ガレリア (1F)

東4ホール

Yamaha ヤマザキマザック E5001

Howa 豊和工業 E4043

ANCA ANCA Machine Tools Japan E4011

LIEBHERR Liebherr-Verzahntechnik E4040

Sodick ソディック E4015

COMAT NTC コマツNTC E5012

Palmary PALMARY MACHINERY E5010

TAIWAN EXTERNAL TRADE DEVELOPMENT COUNCIL (TAITRA)

- E4003-1 JOEN LIH MACHINERY
- E4003-2 GRINTIMATE PRECISION INDUSTRY
- E4003-3 CHIEN WEI PRECISE TECHNOLOGY
- E4003-4 Tongtai Machine & Tool
- E4003-5 HAN JIE MACHINERY
- E4003-6 RONG JHEN TECHNOLOGY
- E4003-7 YONG JU PRECISION TECHNOLOGY
- E4003-8 TIAN FENG HYDRAULIC
- E4003-9 TAITRA

TAIWAN SMART MANUFACTURING

未来へ受け継ぐ 台湾のモノづくり

イベント連日開催!
 ~台湾の“おもてなし”をあなたに~

東4ホール (East4Hall) E4003-9

International Trade Administration | Taiwan External Trade Development Council | PMC | Ad by HDA

JIMTOF 2024

ブース 東4ホール E4011

ANCA Machine Tools Japan 株式会社

FX ULTRA
 プレミアムパフォーマンスの切削工具

50 ANCA YEARS OF INNOVATION

East
東

7・8 ホール



- 工作機械
- 精密測定機器、光学測定機器、試験機器、制御装置
および関連ソフトウェア(CAD、CAM等)、
その他関連機器

東8ホール

会場内巡回ジャンボタクシー
FREE!

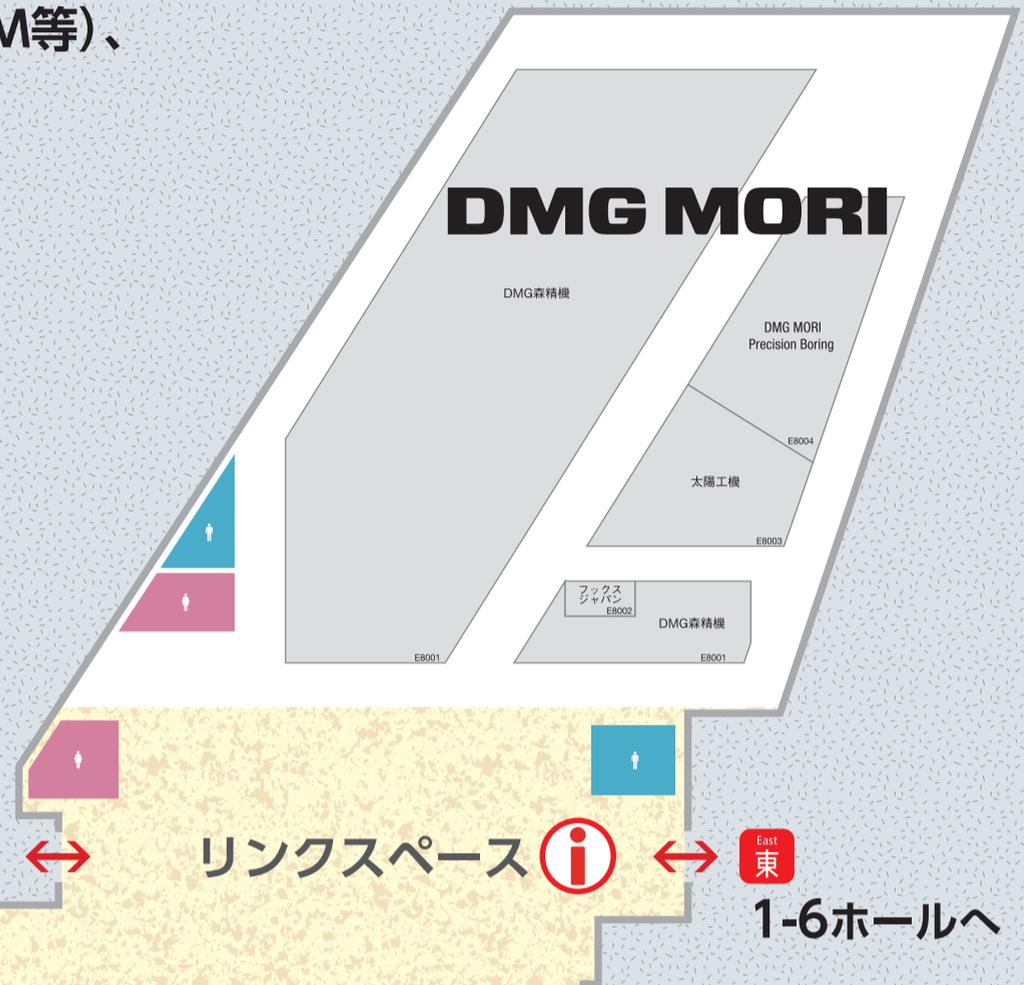
東展示棟 東1ホール
↓
西・南展示棟4F 屋上行き
↓
南展示棟1F 南1ホール行き

10:00~17:00
※8:30~10:00は
運行ルートが異なります
(詳細はP.2「ルートマップ」参照)
※最終日は16:00まで

巡回シャトルバス
FREE!

東展示棟 東7ホール
↓
南展示棟2F 南2ホール行き
↓
りんかい線 国際展示場駅行き

11:00~17:15
※8:30~11:00 / 17:15~18:00は
運行ルートが異なります
(詳細はP.2「ルートマップ」参照)
※最終日は16:00まで



巡回
シャトルバス
のりば

巡回シャトルバス
FREE!

東
7ホール

**JIMTOF
FOOD FESTIVAL**

日本工業 E7151	ブルーム・ノボテス E7132	アイゼン E7106	アタゴ E7104	三鷹光器 E7105	アイゼン E7106	アタゴ E7104	三鷹光器 E7105	アイゼン E7106	アタゴ E7104	三鷹光器 E7105	東京精密 E7027
SHINNING 3D Tech E7148	オプトエッセ E7134	SHINNING 3D Tech E7148	オプトエッセ E7134	SHINNING 3D Tech E7148	オプトエッセ E7134	SHINNING 3D Tech E7148	オプトエッセ E7134	SHINNING 3D Tech E7148	オプトエッセ E7134	SHINNING 3D Tech E7148	オプトエッセ E7134
イサム資料 E7144	ビエアンド E7142	メロール E7094	ハンヤング E7096	メロール E7094	ハンヤング E7096	メロール E7094	ハンヤング E7096	メロール E7094	ハンヤング E7096	メロール E7094	ハンヤング E7096
YUAN JUN FONG CASTING E7093	アケア化学 E7092	ベトラ E7091	アコシ E7090	YUAN JUN FONG CASTING E7093	アケア化学 E7092	ベトラ E7091	アコシ E7090	YUAN JUN FONG CASTING E7093	アケア化学 E7092	ベトラ E7091	アコシ E7090

東7ホール



JIMTOF FOOD FESTIVAL East 東

東展示棟屋外・東7ホールにて「JIMTOF Food Festival」を開催します。
各所でバラエティに富んだメニューを提供します。

営業時間 10:00~18:00 (最終日は14:00まで)

JIMTOF Café South 南

南2ホール内にカフェコーナーを設置いたします。
ドリンクと軽食を提供します。開場時間前からご利用いただけます。

営業時間 8:30~17:00 (最終日は14:00まで)



JIMTOF FOOD FESTIVAL 日本のご当地グルメ West 西

西屋上展示場の「JIMTOF Food Festival」には、日本中から、ご当地グルメが集結します。
ぜひお楽しみください。

営業時間 9:00~17:00 (最終日は14:00まで)

 宮城県 牛タン丼	 秋田県 横手焼きそば	 埼玉県 本格うなぎ	 神奈川県 温玉金揚げしらす丼
 大阪府 牛かす塩らぁ麺	 長崎県 長崎角煮バーガー	 宮崎県 ローストチキン	 沖縄県 ソーキそば

YKT 100th ANNIVERSARY **ogop**

マルチセンサ三次元測定機の
ベストセラーモデル
「オージーピー スマートスコープ」

今年、東2ホールに出展します

小間番号 **東2ホール E2008**
東2ホール入口直進つきあたり

初公開機2台を含む
計7機種を実機展示予定!



コマツNTC株式会社 東5ホール E5012

未来創造 *Integrated Technologies*

立形大型加工機 KV420L	横形5軸マシニングセンタ CX500
-----------------------	---------------------------

■ギガキャスティングワーク加工対応 ■高精度・安心・フレンドリー・システムアップ



営業本部本社営業部 TEL 0763-22-1391 コマツ NTC 株式会社

西2ホール (West 2 Hall) **W2042**

- ドイツ 高速5軸門形マシニングセンタ
- ドイツ AR (拡張現実) 品質検査ソフト
- ドイツ 世界初 揺動ジェットノズル
- レーザーユニット搭載 NCフライス盤
- 高速外観検査装置



株式会社 トミタ

東5ホール(East 5Hall)E5010

PALMARY

研削盤の専門家。

- センタレス研削盤
- 円筒研削盤
- 内径研削盤
- 縦式研削盤
- その他



リープヘル社
歯車加工機・測定機

東4ホール 小間番号: E4040
www.liebherr.com

LIEBHERR

ギアテクノロジー



振動・レベル・圧力・温度・流量・RFID etc. ノーコード IIoT プラットフォーム

センサラインナップ + **moneo**

装置状態の見える化!!



東7ホール **E7058** ifm efactor 株式会社

West
西

1・2 ホール

■ 機械工具
(切削工具・耐摩耗工具)、
工作機器

西1ホール



JIMTOF2024
来場者アンケート実施中

ご回答いただいた方には
JIMTOFオリジナルフリクションを配付中!

実施期間
2024年11月5日(火)9:00~11月10日(日)16:00

* 先着1,500名。数に限りがございます。
あらかじめご了承ください。

* 完了画面をスクリーンショットし、
会議棟2階エントランスホール
アンケートステーションまでお越し下さい。

西1ホール **W1041**

SUMITOMO
CARBIDE - CBN - DIAMOND
Global Support, Global Solutions.

住友電気工業株式会社

NT 複合旋盤用
Boost Master

複合旋盤での
切屑対策に最適! **NEW**

クーラントを **Max15MPa** に増圧・吐出し
ワークへの切屑巻き付きを防止!

BMAL型

NT エヌティーツール株式会社
WEBサイト www.nttool.com テクノメール technomail@nttool.co.jp 0120-04-0102

JIMTOF2024
西2ホール **W2050**



ACADEMIC AREA
アカデミックエリア NEW

JIMTOF2024 [第32回 日本国際工作機械見本市]
学生のための新エリア誕生!!

JIMTOF出展企業の総務・人事担当者が集結!
なんでも聞いてみよう!

「工作機械 × 未来のMobility」
THK独自開発のEVプロトタイプ

「工作機械 × 安心安全」
免震車による地震免震体験

「工作機械 × 動かす」
汎用旋盤やCAMシミュレーターによるものづくり体験

「工作機械 × リアル下町ロケット」
プロジェクト秘密ストーリー「ものづくり」

キャリアマッチングスクエア

企画展示

オープンカフェ
国際インフォメーションセンター
多目的ステージ
出展メーカーツアーデスク
EPA相談デスク
インディペンデント商談ブース

IMECポスターセッション

業界のトップランナーやYouTuberが登場する多目的ステージ
分野別に展覧企業をめぐるツアー
海外有力工業会のインフォメーションブース等が集結!

ドリンク・フードを無料で楽しみいただけるサービス(限定)やフリーWiFi完備等

大学をはじめ参加53機関の研究発表が一堂に! 多目的ステージでミニプレゼンも!

南4ホール

工作機械業界・ものづくり業界への就活に即・役立つ情報を多角的に発信! 業界トップランナー・YouTuberによるトークステージやものづくり体験等、盛り沢山のコンテンツのほか、ドリンク・フードが無料になるサービスも! 学生のみならず! まずは南4ホールへGO!!

IMEC2024 (第20回国際工作機械技術者会議) ポスターセッション

国内外の大学・研究機関等の工作機械関連研究成果について、ポスター形式にて発表する『ポスターセッション』を南4ホール内にて実施します。

11月5日(火)~11月10日(日) ※ 11月7日(木)、8日(金)、9日(土)9:00~12:00の予定で参加機関の説明員が常駐します。

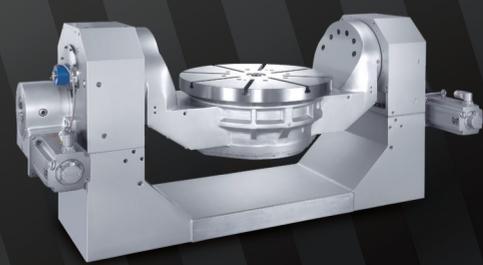
参加研究機関・テーマ一覧表

A 工作機械及びその構成要素	B 加工技術及び加工現象	C システムと制御技術	E 計測・評価技術
A-01 上智大学 理工学部 機能創造理工学部 精密工学研究グループ 金属摺動面における異なる面積比のマイクロテクスチャによる摩擦低減 A-02 日本大学 理工学部 山田・内田研究室 円筒研削盤の工作物支持剛性が加工精度に及ぼす影響 A-03 中部大学 工学部 機械工学科 安達研究室 大径深穴内面研削用スピンドル開発技術の体系的な研究 A-04 東京農工大学 笹原研究室 加工状態のインプロセスモニタリング A-05 東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻 先端加工学研究室 大規模温度データを活用した熱変形補正に関する研究 A-06 三栄市立大学 技術・経営工学科 田辺研究室 エンクロージャを有する工作機械のためのFEM熱変形シミュレーション技術の開発とその適用技術事例の紹介 A-07 神奈川大学 工学部機械工学科 中尾研究室 機械学習によるサーボモータの熱変位予測	B-01 名古屋大学 大学院工学研究科 オークマ工作機械工学寄附講座 送り速度変動を考慮したパウダーDEDビード形状の安定化 B-02 金沢大学 設計製造技術研究所 PBF-LB/Mでの通気構造製作に向けた微小管造形戦略の構築 B-03 岡山大学 大学院環境生命自然科学研究科 特殊加工学研究室 EBポリッシングによる金属AM造形物の表面平滑化 B-04 埼玉大学 大学院理工学研究科 機械工作研究室 指向性エネルギー堆積による材料特性制御 B-05 電気通信大学 機械知能システム学専攻 永松研究室(代表) 東京農工大学 機械システム工学専攻 笹原研究室 金属付加工技術による軽金属材料の同種・異種金属積層 B-06 慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 柿沼研究室 金属3Dプリンタにおける伝熱解析とコーティング技術への応用 B-07 慶應義塾大学 理工学部 小池綾研究室 指向性エネルギー堆積法を応用した高速コーティング技術の開発 B-08 横浜国立大学 大学院 工学研究科 篠塚研究室 切りくず裏面温度分布画像のAI分析による各種工具摩耗量の同時推定 B-09 東京電機大学 機械工学科 機械加工学研究室 切削シミュレーションによる穴加工の切りくず制御 B-10 東京電機大学 機械工学科 機能創成研究室 炭素繊維強化PEEK樹脂基複合材のドリル切削 B-11 筑波技術大学 産業技術学部 産業情報学科 後藤研究室 炭素繊維強化樹脂(CFRP)に対する研削用放電加工	B-12 明治大学 理工学部 機械工学科 機械加工研究室 CFRPの気中放電加工における加工効率に関する研究 B-13 東京工業大学 工学院機械系 田中智久研究室 曲面薄板材に適用可能なボールバニシング加工システムの開発 B-14 日本工業大学 基幹工学部 機械工学科 二ノ宮研究室 放電電極と研削砥石を兼用する導電性PCD回転工具の開発 B-15 岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 機械加工学研究室 勾配ブースティング手法を援用したボールエンドミル工具寿命判定システムの開発 B-16 摂南大学 理工学部 機械工学科 生産加工研究室 超硬合金のボールエンドミル加工に関する研究 B-17 東北大学 工学研究科 水谷・久慈研究室 アモルファス合金の組織制御による革新的加工法の開発 B-18 千葉大学 加工物理学研究室 薄板ガラスの切断における亀裂進展挙動と切断面形成メカニズムに関する研究 B-19 長岡技術科学大学 精密加工・機構研究室 機能性を発現させる特殊加工技術の開発 B-20 大阪大学 大学院工学研究科 榎本・杉原研究室 表面積拡大率分布に基づく新たな凝着摩擦モデルの構築 B-21 滋賀県立大学 工学部 材料力学研究室 レーザーを用いた薄鋼板の焼入れおよび変形矯正に関する研究 B-22 徳島大学 大学院 社会産業理工学研究科 石田・溝淵研究室 磨砥石のゼロエミッション化に向けたポリビニルアルコールのみを結合剤とした3R砥石の作製	E-01 佐世保工業高等専門学校 電子制御工学科 研削工具AI評価研究室 深層学習を用いた研削工具作業面の定量的評価 E-02 北九州市立大学 国際環境工学部 機械システム工学科 村上研究室 機械学習を用いた加工計測技術の高度化に関する研究 E-03 東京大学 生産技術研究所 吉岡研究室 3Dスキャナを用いた工作物取付け位置測定およびNCデータによる補正加工 E-04 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 インダストリアルCP5研究センター つながる工場研究チーム 画像判定によるギヤスカイビング工具の寿命検出システムの開発 E-05 京都大学 マイクロエンジニアリング専攻 精密計測加工学研究室 画像を用いた工作機械の運動精度測定 E-06 中部大学 工学部 先端マイクロ加工学研究室 机上工具撮影画像に基づく工具状態推定法の開発 E-07 中央大学 理工学部 デジタル生産工学研究室 加工音計測を利用した切削プロセスの非接触モニタリング E-08 埼玉工業大学 大学院工学研究科 マイクロ・ナノ工学研究室(長谷研究室) デュアルAEセンシングによる小型工作機械のスマート状態監視 E-09 日本大学 工学部 齋藤研究室 タッチプローブを用いた5軸マシニングセンタの角度割出し精度測定 E-10 長崎大学 大学院総合生産科学研究科 精密生産技術研究室 機上・インライン計測のための光学計測システム E-11 東京電機大学 先端機械工学科 ナノ精度加工研究室 ナノ精度加工による次世代製造技術の探求 E-12 大阪工業大学 工学部 精密工学研究室 CAMに依らない同時5軸運動試験法 E-13 有明工業高等専門学校 創造工学科 柳原研究室 研削におけるインプロセスダイナミクス制御は加工に新たな機能を提供できるか?
F 生産システムとその構成要素	特別展示		
F-01 広島大学 先進理工系科学研究科 機械設計システム研究室 ロボット切削の精度向上 F-02 摂南大学 理工学部 機械工学科 諏訪研究室 ロボティックFMSの省エネ運用のための最適化技術	S 日本工業大学 工業技術博物館 工作機械を学ぶ日本工業大学 工業技術博物館の紹介		



Booth No.: W3103

工作機械の高付加価値を作り出す



タンデムドライブ CNC傾斜円テーブル
TANDEM DRIVE CNC TRUNNION TILTING ROTARY TABLE
www.detron-rotary.com



Mighty-Mild

業界最高の**40G!**
※当社調べ

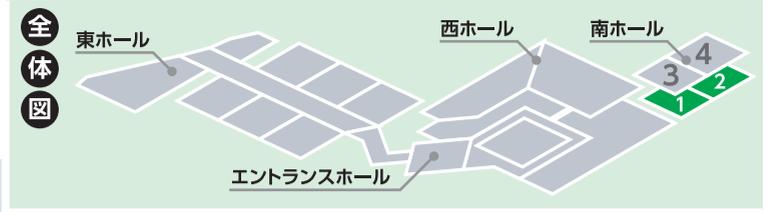
「早く・丁寧に」研磨



株式会社チップトン **JIMTOF2024** 西4ホール **W4046**

South
南

1・2 ホール



■ 工作機械 ■ Additive Manufacturing Area



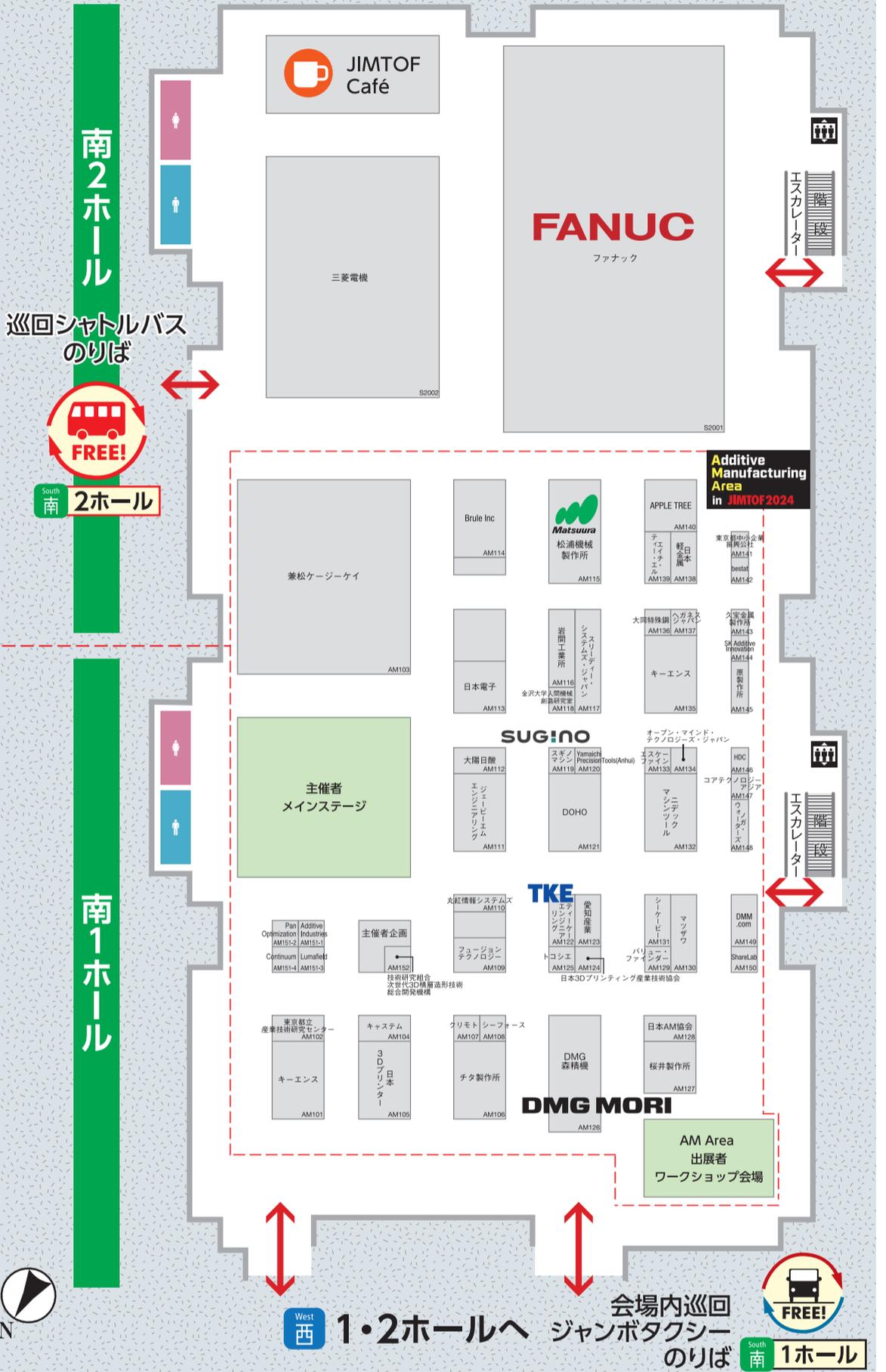
特別併催展

Additive Manufacturing Area

in **JIMTOF2024**

South 南 南展示棟1階

Additive Manufacturing (AM) / 3Dプリンティング装置の市場規模は年々拡大しています。工作機械業界においてもAM/3Dプリンティングは、部品点数の削減、リードタイムの短縮、多品種少量生産を可能にする革新的技術として注目されています。エリア内では出展者による展示に加え、講演会やセミナーも行われ、AM製品に関連する最新の製品や最先端の技術、ソリューションと効率的に出会えます！



世界初のハイブリッド金属3Dプリンタ

LUMEX Avance-25

南2ホール AM115 [AMエリア]

サンプルワーク: フクイラートル モデル提供 / 公立大学法人福井県立大学

株式会社 **松浦機械製作所**

Matsuura

環境と技術は、引き算から足し算でイノベーション。
ティーケーエンジニアリングは、技術、経験、柔軟な発想で新しいものを創造し続けます。

CREATION AND CHALLENGE

南1ホール (South 1Hall) AM122

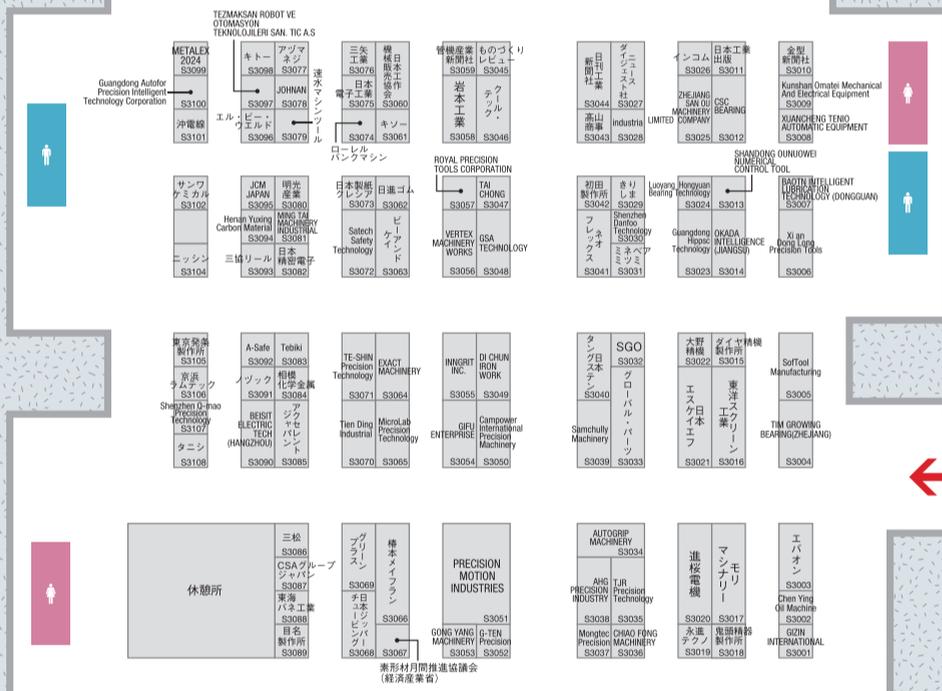
TKE

ティーケーエンジニアリング株式会社

South
南

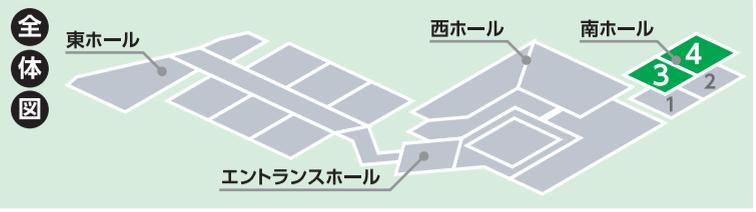
3・4 ホール

■ 工作機器、その他関連機器、出版



FREE! 会場内巡回
ジャンボタクシーのりば
West South 4F屋上

West 西 3・4ホールへ



ACADEMIC AREA アカデミックエリア

South 南 南4ホール

キャリアマッチングスクエア

JIMTOF2024出展企業の総務・人事担当が集結。理系文系問わず多数の学生の皆さんをお待ちしています。

- 【参加企業】**
- | | |
|---------------|----------------------|
| 新日本工機株式会社 | フルサト・マルカホールディングス株式会社 |
| シチズンマシナリー株式会社 | 株式会社ミツトヨ |
| ユニパルス株式会社 | santec Holdings株式会社 |
| ヤマザキマザック株式会社 | 三菱マテリアル株式会社 |
| 松本機械工業株式会社 | THK株式会社 |
| トーヨーエイテック株式会社 | 三井精機工業株式会社 |
| 芝浦機械株式会社 | 株式会社MOLDINO |
| 株式会社スギノマシン | 株式会社牧野フライス製作所 |
| 株式会社FUJI | 株式会社コスメック |
| 株式会社不二越 | 株式会社東京精密 |
| オークマ株式会社 | 都立職業能力開発センター |

オープンカフェ

wi-fiやドリンクサービスを用意し、来場者であれば、どなたでも利用可能なユーティリティスペースです。ゆっくりご休憩しながら多目的ステージをお楽しみ下さい!

多目的ステージプログラムはこちら▶



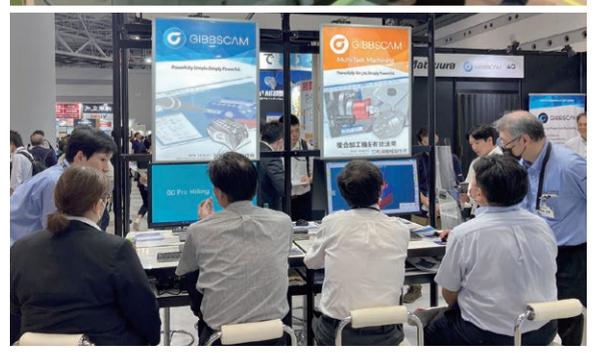
企画展示

マシンツール・インフィニティ∞

~無限の可能性を切り拓く工作機械の世界へようこそ~

楽しみながら、工作機械業界への知見を深め、業界の可能性を肌で感じ取れる体感型コンテンツを多数そろえています。

- 【展示・体感コンテンツ】**
- 「工作機械×未来のMobility」、「工作機械×安心安全」
独自開発のEVプロトタイプ「LSR-04」、免震体験車
*協力: THK株式会社
 - 「工作機械×動かす」
汎用旋盤による加工体験
*協力: 都立職業能力開発センター
CAMプログラミング体験
*協力: 株式会社松浦機械製作所
 - 「工作機械×リアル下町ロケット」
ものづくりZ
固い意志と柔軟発想が生み出したプロジェクト秘話
*協力: 株式会社由紀精密



TAIWAN SMART MANUFACTURING

未来へ受け継ぐ 台湾のモノづくり

イベント連日開催!
~台湾の“おもてなし”をあなたに~

西4ホール(West4Hall) W4083-18

International Trade Administration | Taiwan External Trade Development Council | PMC | AEL by TDA

モノづくりを Digital technologies supporting manufacturing 支えるデジタル技術

中央大学 理工学部 教授
鈴木教和

Norikazu Suzuki
Faculty of Science and Engineering
Professor Chuo University

デジタル技術の活用がモノづくりの進化を加速させている。製造現場に自動化・合理化をもたらすだけでなく、その開発リードタイムやコストの大幅な削減を実現する。最近のデジタル技術を取り巻く動向について概説する。

The use of digital technology is accelerating advancements in manufacturing. It brings not only automation and rationalization to manufacturing sites, but also significantly reduces development costs and lead times. Here is an overview of the latest trends in digital technology.

デジタル技術 自動化・合理化のカギ握る

産業界において労働人口減少は深刻な問題である。自動化・合理化技術の活用は急務であり、その実現のカギを握るのがデジタル技術である。例えば、生産ラインを構成するさまざまな設備をコンピューター上でモデル化することで、バーチャルの世界で設計を行う設備MBD（モデルベース開発）を実現することができる。すなわち、デジタル変革（DX）の取り組みがモノづくり産業に競争優位性をもたらす。

ロボットや加工・搬送設備などの3次元（3D）モデルとシミュレーション技術を駆使し、設計・製作・量産の検討をデジタル領域で行うことで、設備設計の完成度が向上する。また製作後のやり直しが削減されるため、開発リードタイムとコストを大幅に削減できる。

高機能なロボットの活用進む

特に、ロボット技術の進化には目を見張るものがある。ビジョンセンサーや力センサーを搭載した高機能なロボットの活用が進み、人工知能（AI）を活用する自律制御技術の実用性が向上している。さらに、人との協働作業を実現する協働ロボットや自律移動ロボット（AMR）の活用が、工場の省人化・無人化・自動化に貢献している。

デジタルツインやIoTとの親和性も高く、オフラインシミュレーションによる設備立ち上げやIoTツールを利用した状態監視に適しており、ゼロダウンタイム（ZDT）の実現に貢献する。最近では、ロボットマシニングへの活用も注目されている。

デジタルツイン 加工条件最適化に有効

工作機械においてもデジタル技術の活用拡大が著しい。特に注目されるのがデジタルツイン技術である。例えば、加工シミュレーションにより工作機械本体や治具を設計する段階で、その機械的な特性（振動や熱変形のしやすさなどの情報）を事前に予測・把握し、高い精度で加工結果を事前に予測する。これらのデジタルツイン技術は、加工条件の最適化を容易にし、製造技術開発において極めて有効なツールとなる。

また、工作機械の熱変形補正や加工の安定化におい

てAIを代表とするさまざまなデジタル技術の活用が進められ、最近では消費電力削減のためのゼロ暖機運転なども実現されている。さらに、イメージセンサーやセンサー工具などの周辺技術においてもその進化が著しい。今後もデジタル技術がもたらすイノベーションに注目したい。

Digital technology is key to automation and rationalization

In industries, the decrease in the working population is a serious issue. The use of automation and rationalization technologies is a pressing issue, and digital technology plays a key role in making this happen. For instance, by modeling various facilities that make up a production line on a computer, it is possible to conduct facilities' equipment MBD (model-based development), which allows design to be conducted in a virtual world. In essence, digital transformation (DX) efforts create a competitive advantage in manufacturing.

The completeness of facility design is enhanced by utilizing 3D models of robots, processing facilities, and transportation facilities, as well as simulation technologies, to evaluate design, production, and mass production in the digital domain. Development lead times and costs can also be significantly reduced as post-production rework can be decreased.

Use of high-performance robots is on the rise

The advancement of robotics is especially worth noting. The use of high-performance robots equipped with vision sensors and force sensors is increasing, and autonomic control technologies using artificial intelligence (AI) are becoming more practical. Robots that work together with human workers and autonomous mobile robots (AMR) are also helping factories reduce man hours and enable unmanned and automated operations.

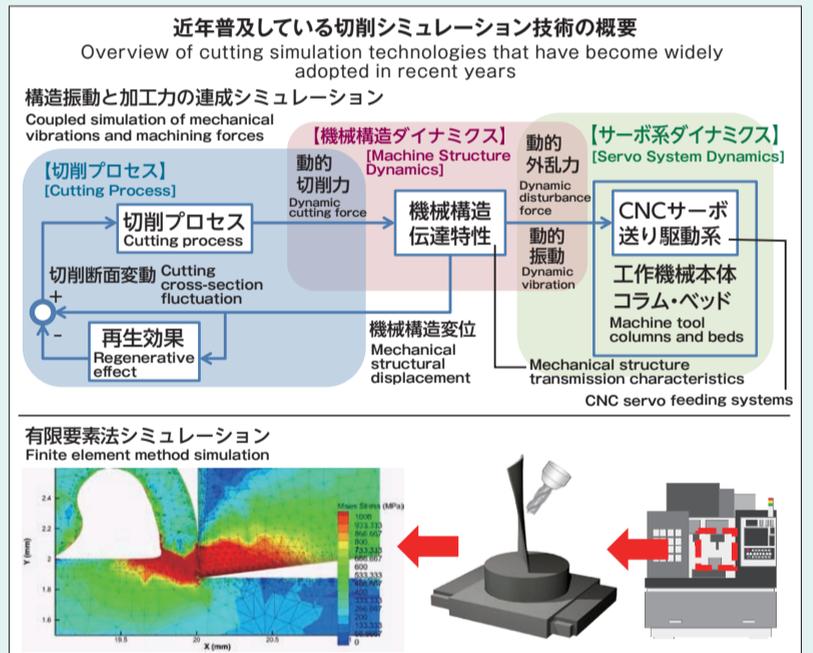
These robots also work well with digital twins and IoT, making them suitable for launching facilities through offline simula-

tions and for operational monitoring with IoT tools, contributing to zero downtime (ZDT). The use of these robots for robotic machining is also drawing attention lately.

Digital twins effective for the optimization of processing conditions

The use of digital technologies in machine tools is also experiencing a marked increase, particularly with digital twin technology. For instance, forecasting and identifying mechanical features (information such as vibrations and how much it can deform with heat) of machine tools and jigs during the design phase with processing simulations allows for a highly accurate estimation of processing results. These digital twin technologies help in effortlessly optimizing processing conditions, serving as extremely effective tools in the development of manufacturing technologies.

Recently, AI and various other digital technologies are being actively used to adjust thermal deformation in machine tools and to stabilize machining processes, including zero warm-up operations, to save power. The advancement of digital technologies is also prominent in peripheral technologies, such as those used in image sensors and sensor tools. We will continue to keep track of innovations achieved through these digital technologies.



台北国際工作機械見本市

2025年3月3日(月)～8日(土)

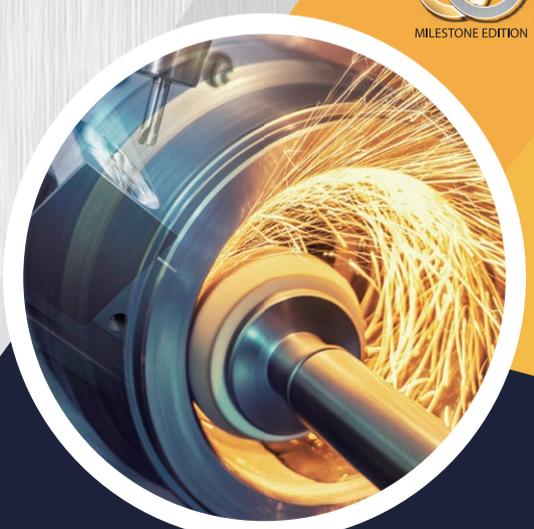
台北南港第1、第2展示ホール (TaiNEX 1 & 2)
台北世界貿易センター第1展示ホール (TWTC Hall 1)

www.timtos.com.tw



出展内容

- 金属切削機械 ■ 金属成形機械 ■ 切削工具・ツーリング・アクセサリ ■ ワイヤー・チューブ・シート加工装置
- レーザー加工設備 ■ 溶接・表面処理設備 ■ 検査・測定 ■ AI・制御系統&スマート・マニファクチャリング
- 部品・アクセサリ ■ 革新的応用とソリューション ■ ナショナル・パビリオン



主催者: 台湾貿易センター 台湾機械工業同業公会

株式会社向洋技研
KOYO GIKEN INC.

東1ホール
East Hall 1
E1058

美しく強いスポット溶接を世界の現場に

Clean and strong spot welding for all precision sheet metal sites around the world

向洋技研は「美しく強いスポット溶接を世界の現場に」を掲げ、「MYSPOТ」シリーズの最新モデルによる提案を行います。実機実演を行いながら「環境に配慮した高品質な接合」とは何か、またそれがどのように「利益を生み出す溶接工程」となるかを提示します。省人化の加速、原材料の高騰により品質維持と利益確保が課題となる中、スポット溶接機MYSPOТが生産現場におけるさまざまな課題解決を提案することで、お客さまの生産性向上に貢献します。



Koyo Giken is promoting "clean and strong spot welding for sites around the world" and will be proposing the latest model of the "MYSPOТ" series. While demonstrating the actual machine, they will show what "environmentally friendly, high-quality joining" is and how it can become a "profit-making welding process." With the accelerated trend toward labor saving and rising raw material prices making quality maintenance and profits an issue, the spot welder MYSPOТ will contribute to improving customer productivity by proposing solutions to various issues at production sites.

E-MAIL

info-hp@koyogiken.co.jp

ケナメタルジャパン株式会社
KENNAMETAL JAPAN LTD.

西1ホール
West Hall 1
W1023

究極の生産性と工具寿命を備え、幅広い用途に対応

Ultimate productivity and tool life meet an extreme application range

5枚刃設計と強力なコアとの組み合わせで、MRR、工具寿命、切り屑排出機能を向上。センターレスエンドフェイス設計がランピング加工、プランジ加工、深溝入れ加工を実現。チップギャッシュで、切り屑排出を向上させ、フルートから切削域へのクーラントの流量を増やすことで工具の冷却を向上。独自のWフルート形状により、切り屑排出を向上させ、コアを強化。エキセントリックリリーフが切れ刃の強度を高めることで、工具寿命が延長し、被削材の幅広いアプリケーション範囲を実現。



H2TE

Open 5-flute design combined with a stronger core for increased MRR, tool life and chip evacuation capabilities. Novel centerless end face designed for aggressive ramping, plunging and deep slotting. Chip gashes for better chip evacuation and improved tool cooling with increased coolant flow from the flute to cutting zone. Proprietary W-flute shape for better chip evacuation and stronger core. Eccentric relief increases the edge strength for longer tool life and wide material application range.

E-MAIL

japan.customerservice@kennametal.com

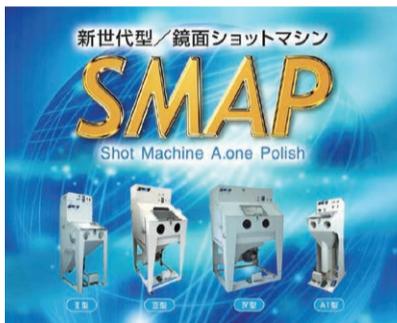
東洋研磨材工業株式会社
TOYO KENMAZAI KOGYO LTD.

東1ホール
East Hall 1
E1008

磨きの工程改善で実績多数！鏡面研磨機SMAP

Proven Polishing Performance! The Mirror Surface Shot Machine "SMAP"

鏡面ショットマシンSMAPは、職人技術である「研磨・磨き」の工程を誰でも簡単に行える画期的な機械。弾力のある研磨メディアを、エアを使わず対象に斜めに投射し滑らせることで磨きが行われ、手では磨きづらい複雑形状の加工が可能。自動化実績も多数あり、幅広い業界で活躍中。鏡面磨きが得意だが、新商品のSDメディアは放電加工1stカットの粗さにも対応できます。ブース実演を行っており、その場でテスト加工も可能。ぜひテストサンプルをお持ち下さい。



The Mirror Surface Shot Machine "SMAP" is a groundbreaking machine that allows anyone to perform the traditional polishing and buffing process once reserved for skilled craftsmen. By projecting flexible polishing media at an angle without using air, it glides over the surface, allowing polishing of even complex shapes that are difficult to handle by hand. With a proven track record in automation and use across multiple industries, it's ideal for mirror polishing, but the latest SD media product can also support the roughness of the first cut of electrical discharge machining. Live demonstrations are available at the booth, and you can even bring your own samples for testing.

URL

https://toyo-kenmazai-kogyo.jp/

フジ産業株式会社
FUJI SANGYO CO.,LTD

東3ホール
East Hall 3
E3031

高トルクタイプ長尺加工機による高速加工

High-torque Long Length steel processing machine

鋼材加工用高トルク仕様長尺加工機「FB-5000-20ATC-S」は、通常の加工機より各種剛性を高め、角パイプやH鋼などの鋼材加工に最適な加工機となっています。もちろん鋼材以外、アルミ、ステンレス、樹脂など幅広いワークに対応します。オーダーメイドによる製作でストロークなどは、お客さまのご要望で変更できます。

JIMTOF2024では刃物メーカーの不二越様とのコラボレーションでバリレスドリルによる高速加工をご覧いただけます。



The 'FB-5000-20ATC-S' is a high-torque steel processing machine with enhanced rigidity, ideal for cutting square pipes and H-beams. At JIMTOF 2024, we'll demonstrate its high-speed capabilities in partnership with Nachi-Fujikoshi.

URL

https://fuji-sangyou.com/



自動化・省人化・高効率化
スマートに解決
未来へ導く Sodick Smart Solution

AMR*が工程間連携を実現
※: Autonomous Mobile Robot



リニアモータ駆動
超精密
ワイヤ放電加工機

AX350L iG+E

リニアモータ駆動
高速・高性能
精密形彫り放電加工機

AL40G+

長時間大型ワーク加工を
多彩な機能で自動化・効率化



リニアモータ駆動
高速・高性能
大型ワイヤ放電加工機

ALN800G iG+E

軽量＆コンパクトな機体で
難削材の微細精密加工実現



New Model
リニアモータ駆動
フェムト秒レーザー加工機

LSP4040

精密切削加工の自動化に向け
多彩なシステムをご提案



リニアモータ駆動
マシニングセンタ
& オートワークチェンジャ

UX650L & SR12



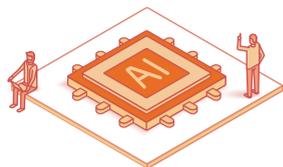
JIMTOF2024
特設サイトへは
こちらから

GO!



株式会社 ソディック

※ 出展機は都合により予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



進化するデジタル技術 ～デジタルツイン・AI活用～

Evolution of Digital Technologies: Uses of Digital Twin and AI

工作機械や機械部品メーカーをはじめとする製造業で、現実世界を仮想空間に再現する「デジタルツイン」や人工知能 (AI) などの活用が活発化している。コンピューター上での高精度なシミュレーション解析は開発期間の短縮に寄与する。従来は試作品の製作が欠かせなかったが、デジタル技術の活用によって試作回数を減らすことで手間やコストを低減。人手不足が深刻な社会課題となる中、開発・製造工程のデジタル化は加速すると見られる。

Manufacturers, including those producing machine tools and machine parts, are seen actively using digital measures such as digital twin, which replicates the physical world in virtual spaces, and artificial intelligence (AI). High-precision simulations conducted on computers help in shortening development periods. Previously, simulations required prototypes to be created, but with digital technologies, the need for prototyping has been reduced, lowering both cost and effort. As worker shortage is becoming a serious social issue, the digitalization of development and manufacturing processes is set to accelerate.

正確な加工時間の見積もりを実現

オークマは独自のコンピューター数値制御 (CNC) 装置「OSP-P500」に、加工時間の見積もりを実加工時間の1000分の1、誤差1%以下の高速・高精度で可能にするデジタルツインの機能を搭載する。装置内のデジタル空間に最新の実機データと3次元 (3D) モデルデータを活用し、機械を再現。正確な加工時間を見積もることができ、加工スケジュールの策定や迅速で正確な納期、コスト見積もりに寄与する。

この機能を実現に結びつけたのは、オークマの根底に流れる「機電一体」の思想だ。市販のソフトウェアでも似たようなシミュレーションは可能だが、モーターで動く軸動作の再現は容易でも、油圧などで動く周辺ユニットの再現までは難しい。電気を専門とする技術者は電気制御の挙動は推測できても、油圧制御の挙動の推測には機械の知見も必要になる。電気と機械のどちらについても技術の蓄積があるオークマだからこそ、工作機械の動作の隅々までを正確に予測する仕組みを完成できた。



オークマの独自コンピューター数値制御 (CNC) 装置「OSP-P500」
Okuma's proprietary computer numerical control (CNC) system "OSP-P500"

最適な加工プログラム作成で 段取り作業削減

ニデックマシンツール (滋賀県栗東市、二井谷春彦社長) はデジタルツインを活用し、工作機械の加工前の検証作業を高精度にシミュレーションできるソフトウェアを開発した。仮想空間で最適な加工プログラムを作成できる。実際に機械や加工対象物 (ワーク) を使った段取り作業をすることなく、同社の工作機械に適用するだけで狙った品質の加工を実現でき、生産性を従来比2倍以上に高められる。

開発したソフトは同社製門型5面加工機「MVR-Hx」向けで、来春発売を予定する。同加工機は自動車向け

の金型など大型ワークの加工を想定する。

従来は実加工前にオペレーターが動作干渉や切削負荷、サイクルタイムなどを確認して加工条件を設定し、加工プログラムの修正や試し加工を繰り返していた。パソコン上の仮想空間でシミュレーションすることで、「事前検証の時間を約20分の1に短縮できる」(同社担当者) という。

また同社の門型5面加工機はシミュレーションの再現性が高く、高精度な加工を安定して実現できる。新ソフトと共に活用することで、生産性向上とオペレーターの作業負担低減に貢献する。

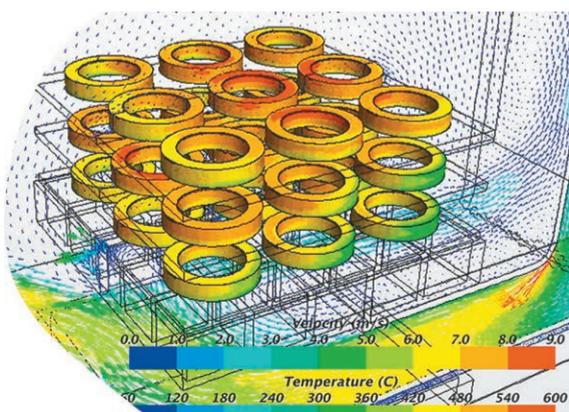


ニデックマシンツールの門型5面加工機「MVR-Hx」シリーズ
NIDECK MACHINE TOOL's double-column, 5-face milling machine "MVR-Hx" series

リアルな現象と デジタルによる解析を融合

一方、リアルも重視するのが日本精工だ。独自開発手法の「リアルデジタルツイン」は、コンピューター上での解析にとどまらず、実験による検証を組み合わせるのが特徴だ。例えばベアリングを回す際、保持器の動作やグリースの状態を、実験を通じてデータ化する。同社はリアルな現象とデジタルによる解析を融合することに意義があると考えている。

同社ではベアリングの熱処理工程にもリアルデジタルツインを活用している。従来は熱処理炉内のベアリングのリングが冷却過程で変形し、その変形を後工程で補正する必要があった。この課題に対して、冷却ムラによる変形メカニズムの仮説を立てて、熱処理炉内の現象



日本精工の熱処理シミュレーション
NSK's heat treatment simulation

をデジタル上でモデル化。デジタルとリアルで現象の洞察を繰り返すことで、生産性向上や開発期間の短縮を実現した。JIMTOFで展示する低フリクションボールねじ「MT-Frix(エムティ・フリックス)」の開発にもリアルデジタルツインが生かされている。



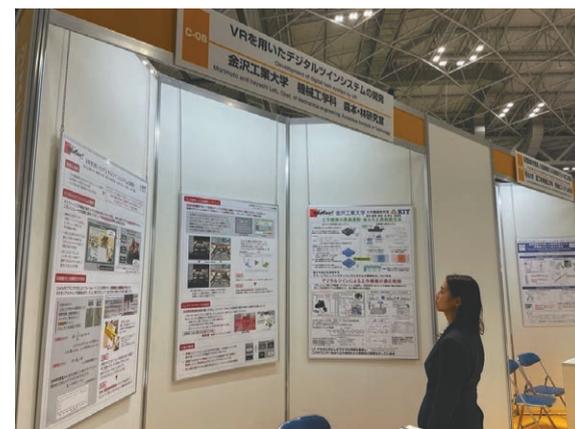
日本精工が開発した低フリクションボールねじ「MT-Frix」
NSK's low-friction ball screw "MT-Frix"

IMEC2024でも関連発表多数

各社がデジタルツインやAI技術を提案する中、IMEC2024 (第20回国際工作機械技術者会議) でも、関連したセッションや発表が目される。

7日15時40分から会議棟1階のレセプションホールAで行われるオールセッション「テクニカルセッション1: デジタル技術で変わる製造現場の未来」では、「AI R&D for Real Factory」「CNC デジタルツイン活用による電装設計と加工プロセスの効率化」「HondaのものづくりDX デジタルを活用した製造オペレーション改革へのチャレンジ」の3講演が予定されている。

南4ホール内では、研究機関・大学が53テーマでポスターセッションを行う。金沢工業大学機械工学科の森本・林研究室の発表テーマは「VRを用いたデジタルツインシステムの開発」。デスクトップ工作機械のVR操作シミュレーションシステムを改良し、没入感のあるデジタルツイン実現を目指しており、それらの研究について紹介する。



IMEC ポスターセッションでもデジタルツインシステムに関する研究が紹介されている (金沢工業大学機械工学科森本・林研究室)
Research on digital twin systems was also introduced at the IMEC poster session (Kanazawa Institute of Technology, Department of Mechanical Engineering, Morimoto/Hayashi Laboratory)

Able to Estimate Processing Time Accurately

Okuma has equipped its proprietary computer numerical control (CNC) system, "OSP-P500," with a digital twin feature that will be able to estimate processing time at 1/1000 of the actual processing time, with high speed and precision within a 1% margin of error. The digital space within the system features the latest actual system data and 3D model data to recreate the system. This allows for precise processing time estimates, contributing to the scheduling of processing timetables, quick and accurate delivery dates, and cost estimation.

This functionality was made possible by Okuma's foundational mechatronics integration philosophy. Commercial software can perform similar simulations, but while they may easily replicate the movement of motor-driven spindles, they can rarely reproduce the operation of other parts such as hydraulic peripheral units. Electrical engineers may be able to estimate how electrically operated parts move but estimation of hydraulic units requires further expertise in machinery. Okuma was able to perfect the mechanism that could predict every movement of machine tools because of its extensive engineering prowess in both electricity and machinery.

Drawing up Optimized Machining Programs to Reduce Setups

NIDEC MACHINE TOOL (located in Ritto, Shiga Prefecture, President Haruhiko Niitani) has developed a software that leverages digital twin to perform high-precision simulations of evaluation processes before the machining of machine tools. The software can draw up optimized machining programs in a virtual space. Without actually setting up

machines and workpieces, the software can simply be used on NIDEC's machine tools to enable targeted machining quality, raising productivity twofold or more.

The software is for NIDEC's double-column, 5-face milling machine, "MVR-Hx," which will be launched next spring. It is intended for large workpieces such as automobile molds.

Previously, operators would verify movement interference, cutting load, and cycle time before machining, adjusting machining programs, and conducting trial machining. Simulations in virtual space on the personal computer can "reduce the preliminary evaluation hours to about one-twentieth," according to a NIDEC representative.

NIDEC's double-column, 5-face milling machine also has high simulation reproductivity, ensuring steady high-precision machining. When used with the new software, the machine helps improve productivity and reduce operator workload.

Fusion of Physical Phenomena and Digital Analysis

Meanwhile, NSK focuses on the physical world as well. Its proprietarily developed "Real Digital Twin" not only performs analysis on the computer but is characterized by how it combines experiment-based evaluations with the analysis. For instance, when rotating bearings, the system converts data on the movement of the retainer and the state of grease through experimental testing. NSK believes that combining physical events and digital analysis is meaningful.

NSK also utilizes Real Digital Twin in the heat treatment process of bearings. Previously, bearing rings inside the heat treatment furnace would deform during cooling, requiring correction in subsequent stages. To solve this problem, NSK devised

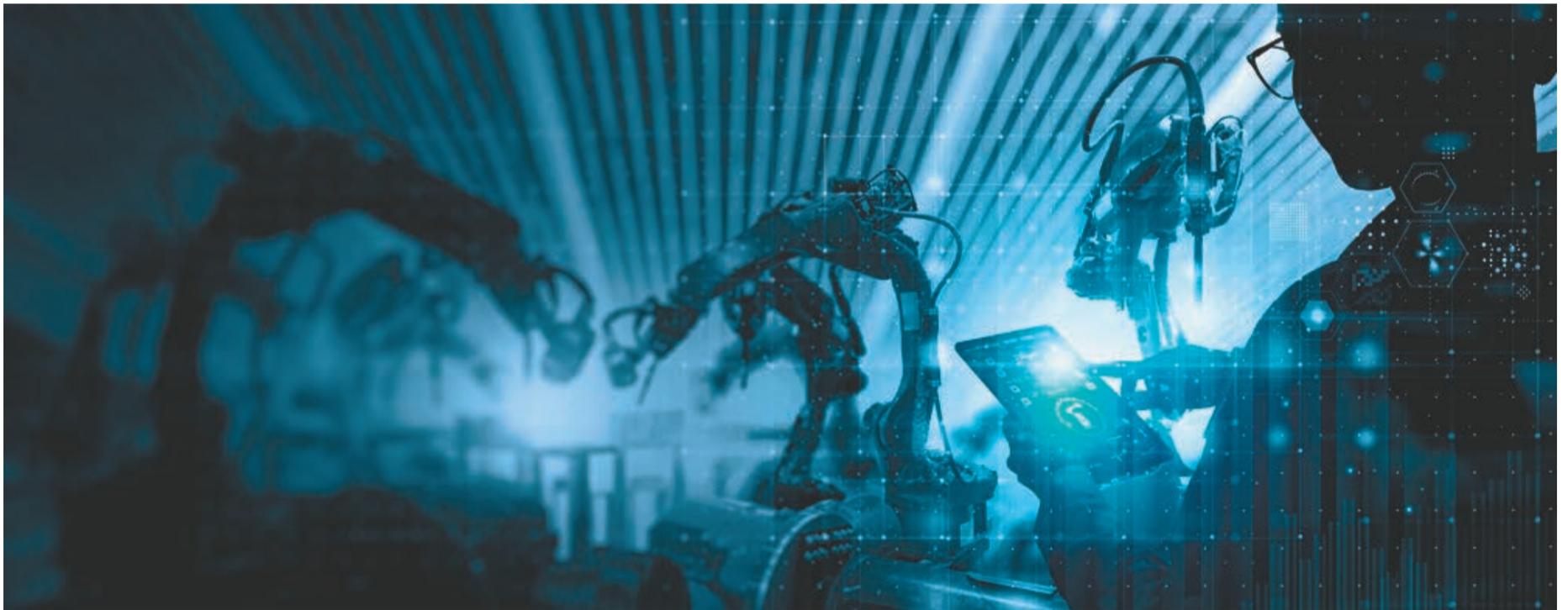
a hypothesis regarding deformation mechanisms caused by uneven cooling and digitally modeled the phenomenon inside the heat treatment furnace. By repeatedly observing the phenomenon digitally and physically, it succeeded in improving productivity and shortening the development period. NSK's low-friction ball screw "MT-Frix," which will be on display at JIMTOF, was also developed using Real Digital Twin.

Many Related Presentations at IMEC2024

While various companies are proposing digital twin and AI technologies, related sessions and presentations at IMEC2024 (20th International Machine Tool Engineers' Conference) will also be attracting attention.

The oral session, "Technical Session 1: Digital technology changing the future of manufacturing industries," will be held from 3:40 p.m. on November 7 in Reception Hall A on the first floor of the Conference Tower. Three lectures are scheduled to be given: "AI R&D for Real Factory," "High efficiency of electrical design and machining process using CNC Digital Twin," and "Honda's manufacturing DX Challenge to reform manufacturing operations using digital technology."

In South Hall 4, poster sessions will be held by research institutes and universities with 53 themes. The theme of the presentation by Morimoto and Hayashi Laboratory of the Department of Mechanical Engineering at Kanazawa Institute of Technology will be "Development of digital twin system by VR." They aim to realize an immersive digital twin by improving the VR operation simulation system for desktop machine tools and will introduce their research.



JIMTOF 2024 JIMTOF Map & Daily News編集部主催 トークショー

高専の現場教員が考える理想のインターンシップ

日本に58校ある高専。夏のインターンシップを単位認定するなど、企業を深く知る機会として学校の現場も意識されています。一方で高専生に特化した、お客さんではないインターンシップの在り方が求められています。今回、機械系のバックグラウンドを持つ高専の先生をお招きし、JIMTOF2024 (第32回日本工作機械見本市)を舞台に、理想のインターンシップを通し工作機械関連業界の魅力をどう伝えればいいのか、率直にお話いただきます。企業と学校がWin-Winの関係を築くために、相互理解を深める一助となれば幸いです。人事・採用分野の方に聞いていただきたい内容です。

詳細はこちら

https://jimtof.org/jp/evt_stu.html#academic >>>>



スピーカー	
 本江 哲行氏 国立高等専門学校機構 本部事務局 理事長特別補佐	 外山 茂浩氏 長岡工業高等専門学校 電子制御工学科 教授

日時	2024年11月9日(土) 12:25 ~ 13:15	<div style="border: 2px solid #e91e63; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; color: #e91e63; font-weight: bold; font-size: 24px;">無料</div>
会場	東京ビッグサイト南4ホール アカデミックエリア内「多目的ステージ」	
定員	約30人 ※トークショー自体への申し込みは不要で無料です。	

COLUMN

新設!アカデミックエリアができるまで

The road to the establishment of the new Academic Area

日本工作機械工業会事務局

Japan Machine Tool Builders' Association Administrative Office

次代のモノづくりを担う人材への発信と日曜日のイベント振興策を兼ね、南4ホールに新設した「アカデミックエリア」。このエリアをいかに皆さんに楽しんでもらったら良いか、でき上がるまでには、事務局はあれこれと、このエリアの企画イメージを妄想してきました。ここではあえて、次世代に向けて「会社員の世界をちょっと体験」という視点で考えたものの、日の目を見なかった大物企画を紹介します。

The Academic Area was recently opened in the South 4 Hall to inspire the next generation of manufacturing talent and as a place for vitalizing Sunday events. Before its completion, the Administrative Office has been brainstorming ideas for how everyone could enjoy this area. Here, we would like to introduce to you key projects that never saw the light of day despite being designed from a standpoint of giving the next generation a peek into the world of company employees.

わが社の社食自慢

工作機械メーカーの社員食堂は、品数が豊富で栄養バランスを考慮した料理を提供しているところが多数あります。例えば、野菜取り放題のサラダバー、有名飲食店とのコラボレーションメニュー、注文を受けてから仕上げる調理スタイルなど、そのままレストラン経営に乗り出した方がいいのでは、という会社も少なくありません。

これらの「美食」を学生に味わってもらい、当業界に入るきっかけに思ってもらえればと考えました。そこで、学生の社食体験として、キャリアマッチングスクエアの発展企業から、社員食堂の名物ランチを提供するコーナーを考案。会期中、日替わりで発展企業の社食シェフが腕を競い、学生たちが点数評価して、最終日には最優秀社食を決めるという構想もありましたが、厨房設備や給排水工事などのコスト面に加え、協力企業のハードルが高いことから、やむなく断念しました。

飲みニケーション体験!?

アニメ「サザエさん」で、会社帰りにサザエさんの父、波平さん(54歳)が、おでんの屋台や赤ちょうちんを灯した居酒屋で、ほろ酔いになるシーンは定番です。人気漫画「クレヨンしんちゃん」でも、32年間の住宅ローンに頭を抱えた主人公しんちゃんの父・野原ヒロシ(35歳)が、会社の後輩を飲みに誘い、頭にネクタイを巻きながら楽しく痛飲する様子がよく描かれます。



仕事終わりのひとときを体感してほしい。そんな思いを込めて、学生を対象に、15時以降、おでんの屋台をオープンさせて、交流を深めてもらう企画を立案して、発案者自らがチャルメラを吹きながら屋台を引くことまで考えたものの、コスト面などの課題から頓挫しました。

このほかにも、お蔵入りした企画はいくつかあります。こうしたさまざまな試行錯誤のすえに、実際に出来上がったアカデミックエリアでは、「マシンツール・インフィニティ∞ ~無限の可能性を切り拓く工作機械の世界へようこそ~」と題した体験企画などをラインアップ。またオープンカフェ内に設置する多目的ステージでは、著名講師やYouTuberによるスペシャルトークショーなど、多彩なプログラムとなりました。ぜひ、工作機械の世界をのぞいて、楽しんでみてください。

Showing off our company cafeteria

Many machine tool manufacturers have company cafeterias offering a wide range of nutritionally balanced options. In fact, there are quite a few companies that could immediately step into the restaurant business, with their amazing salad bars, collaboration menus with well-known restaurants, and made-to-order serving styles.

We thought it would be great if students could experience these gourmet meals, using them as a way to spark interest in joining the industry. Thus, we came up with the idea of creating an area for students to experience famous lunches from company cafeterias at the booths of participating companies in the Career Matching Square. There was another idea to invite the chefs of company cafeterias to take daily turns serving lunch, which will then be reviewed and scored by the students to decide the best company lunch on the last day of the event. However, this idea had to be dropped due to the cost of kitchen facilities and waterwork constructions, as well as the difficulty of finding companies that were willing to cooperate.

Drinkommunication experience!?

In the anime "Sazae-san," the father figure Namihei (age 54) is always seen enjoying getting a bit inebriated after work in street hotpot booths and casual izakayas with red lanterns (indicating they are cheap and affordable). In the popular manga "Crayon Shin-chan," the main character's father, Hiroshi Nohara (age 35), who is struggling with his 32-year mortgage, is also often depicted inviting his younger colleagues out for drinks and tying a necktie around his head while enjoying his night out.

How about letting students experience what moments after work feel like? With this in mind, we came up with an idea of opening a hotpot booth after 3 p.m. for students to facilitate deeper interactions. The person who suggested this idea even considered walking around while towing a hotpot trolley and playing a traditional horn used for such trolleys. However, this idea was ultimately abandoned due to cost and other issues.

There are also a few other projects that did not materialize. Completed after many trials and errors, the Academic Area now offers a range of activity projects, such as "Machine Tool Infinity ∞ Welcome to the World of Machining Tools that Explore Infinite Potential." Additionally, the multipurpose stage in the open café will host special talk shows by famous lecturers and YouTubers. Why don't you have a peek at the world of machine tools and have fun?



MT検定

工作機械検定

MACHINE TOOL

2級

日本工作機械工業会は、一般の方々にも工作機械はどのような機械かを知ってもらう「工作機械検定(MT検定)」を実施しています。JIMTOF Map & Daily Newsでは、工作機械産業に関する標準的な問題を取り上げる「2級」(合計20問)の中から12問を選び、6回にわたって掲載します。全問正解を目指し、ぜひチャレンジしてみてください。

Q.1

1958年、世界で初めてマシニングセンタを製品化した企業は次のどれですか。

- A カーネイ・アンド・トレッカー社
- B キャタピラ社
- C シンシナティ・ミラクロン社

Q.2

我が国の工作機械生産額が1982年米国を抜き世界一位になった最大の要因はどれですか。

- A NC工作機械の輸出が伸びたため
- B 円安で生産額が上昇したため
- C 欧米の自動車会社向け専用工作機械輸出時期が重なった

工作機械検定2級にチャレンジ!
応募期間 11月30日(土)まで。

スマホでも受験できて、
その場で合否判定します!

工作機械検定は
こちらから



例えば、小売業 × 清掃ロボット



例えば、宿泊業 × スチームコンベクションオーブン



中小企業の人手不足解消に効果のある「省力化製品」を導入するための補助金

中小企業 省力化投資補助金

補助率
1/2

随時申請受付中!



例えば、飲食サービス業 × 券売機



例えば、製造業 × 無人搬送車

中小企業省力化投資補助金とは、 人手不足解消に効果があるロボットやIoTなどの製品を導入するための経費を国が補助することにより、簡易で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

補助対象となる事業

人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画*1に取り組むものを対象とします。

申請時に全ての従業員の賃金が最低賃金を超えていること、補助金の重複に該当しないことなどの要件*2を満たす必要があります。また、補助金の交付が決定された場合でも事業実績報告の審査によって補助額の減額となる場合があります。

*1. 公募要領「4-1. 補助対象事業の要件」を参照。
*2. 公募要領「4-2. 補助対象事業者の要件」を参照。



補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	補助事業実施期間に一定以上の賃上げを達成した場合
5名以下	1/2	200万円	300万円に引き上げ
6~20名		500万円	750万円に引き上げ
21名以上		1,000万円	1,500万円に引き上げ

補助上限額の引き上げを適用する場合、事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。
*補助上限額を引き上げたが事業終了までに賃上げ未達の場合は、補助額の減額となります。
*各申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは、複数回の応募・交付申請が可能です。

補助対象製品の カテゴリ

どんどん拡大中!

- ▶ 清掃ロボット
- ▶ 配膳ロボット
- ▶ 自動倉庫
- ▶ 検品・仕分システム
- ▶ 無人搬送車 (AGV・AMR)
- ▶ スチームコンベクションオーブン
- ▶ 券売機
- ▶ 自動チェックイン機
- ▶ 自動精算機
- ▶ タブレット型給油許可システム
- ▶ オートラベラー
- ▶ 飲料補充ロボット
- ▶ デジタル紙面色校正装置
- ▶ 測量機
- ▶ 丁合機
- ▶ 印刷用紙高積装置
- ▶ 印刷用インキ自動計量装置
- ▶ 段ボール製箱機
- ▶ 近赤外線センサ式プラスチック材質選別機
- ▶ デジタル加飾機
- ▶ 印刷紙面検査装置
- ▶ 鋳物用自動バリ取り装置
- ▶ 自動調色システム
- ▶ 蛍光X線膜厚測定器
- ▶ 自動裁断機 など

*一部の省力化製品については、置き換えであっても交付申請可能です。

お問い合わせは、本補助事業コールセンターまで

あらかじめ右記ホームページの掲載資料や「よくあるご質問」をご確認のうえ、お問い合わせください。

ナビダイヤル **0570-099-660**

IP電話などからのお問い合わせ **03-4335-7595**

受付時間：9:30~17:30 / 月曜~金曜(土・日・祝日除く)

※通話料がかかります。恐れ入りますが、繋がない場合は、しばらくたってからおかけ直してください。

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは右記ホームページをご確認ください。

本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから

中小企業省力化投資補助事業ホームページ
<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



省力化製品に関わる工業会・製造事業者・販売事業者のみなさま

カタログ登録サポートセンター **03-6746-1530** でご相談受付中!

● 受付時間：9:30~17:30 / 月曜~金曜(土・日・祝日除く)

Be a Great Small.
中小機構



「講演会・セミナー」一覧表

会場内では連日、多数の併催プログラムを実施中!

11月5日(火)

Conference Tower 会議棟	会議棟 7階 国際会議場	South 南	AM Area 南1ホール 主催者メインステージ
12:00			
13:00	13:00 - 14:00 基調講演 ものづくりに夢を! THKが挑戦する新発想EV	13:00 - 14:00	ダイキャストの未来が変わる、 金属AM金型が変える
14:00		14:00 - 16:00	AMの課題に正面から取り組む 欧米企業
15:00			
16:00			

11月6日(水)

Conference Tower 会議棟	会議棟 1階 レセプションホール	South 南	AM Area 南1ホール 主催者メインステージ
12:00			
13:00	13:00 - 14:15 特別講演 モノづくりは 人づくり	13:00 - 16:15	金属Additive manufacturing セミナー
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			

11月7日(木)

Conference Tower 会議棟	会議棟 1階 レセプションホール	South 南	AM Area 南1ホール 主催者メインステージ
10:00		10:00 - 12:00	TRAFAMセミナー 「ここまで来た! 国産3Dプリンタの社会実装」 午前の部
11:00			
12:00	12:30 - 18:00		
13:00	IMEC2024 (第20回国際工作機械技術者会議) オーラルセッション	13:00 - 16:00	TRAFAMセミナー 「ここまで来た! 国産3Dプリンタの社会実装」 午後の部
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			

南 南展示棟2階[B会議室] 10:30 - 15:25 工作機械関連のソフトウェア・ワークショップ

11月8日(金)

Conference Tower 会議棟	会議棟 7階 国際会議場 会議棟 1階 レセプションホール	South 南	AM Area 南1ホール 主催者メインステージ
10:00		10:00 - 11:00	Additive manufacturingの 課題に欧米はどう取り組んでいるか
11:00		11:00 - 12:00	ロボット・自動化技術と AMのベストプラクティス
12:00		12:00 - 13:00	事業としてのAM量産
13:00	13:00 - 14:00 特別講演 会議棟 7階 国際会議場 前田建設ファンタジー営業部に おける異業種共創の具体例 ～JSOLと共にオープンイノベーション のマネジメントを考える～	13:00 - 16:00	「AM活用は肉盛溶接補修や 異種金属コーティングの自動化から」 ～DED方式AM装置5社の特徴や 違い事例をリレー方式バトルトーク～
14:00			
15:00			
16:00	13:00 - 18:00 会議棟 1階 レセプションホール IMEC2024 (第20回国際工作機械技術者会議) オーラルセッション		
17:00			
18:00			

南 南展示棟2階[B会議室] 10:30 - 16:15 工作機械関連のソフトウェア・ワークショップ

11月9日(土)

Conference Tower 会議棟	会議棟 7階 国際会議場	South 南	AM Area 南1ホール 主催者メインステージ
10:00		10:00 - 11:00	金属AMの補修技術としての 応用と課題
11:00		11:00 - 13:00	金属加工業と AMのベストプラクティス
12:00			
13:00	12:30 - 15:10 学生限定	13:00 - 14:00	いまさら聞けない 3Dプリンタの基礎知識
14:00	工作機械トップセミナー	14:00 - 15:00	グローバルな視点から見る AM/3Dプリンティングの最新動向
15:00			
16:00			
17:00			

11月10日(日)

Conference Tower 会議棟	会議棟 1階 レセプションホール	South 南	AM Area 南1ホール 主催者メインステージ
10:00		10:00 - 13:55	ものづくり維新: Additive Manufacturingで 突破するモノづくりの壁
11:00	10:30 - 11:30 特別講演 10:30 - 宇宙ロボットのものづくり 11:00 - Women in STEM (ものづくり)の日常	10:00 - 10:55 金属3Dプリンタの活用事例 ～アルミダイキャスト金型～ 11:00 - 11:55 マルチレーザーAM装置によるダイキャスト向け 金型部品の製造および今後の展開 12:00 - 12:55 ギガキャストの技術動向とダイキャスト技術 13:00 - 13:55 DED方式×5軸を用いた金型補修・技術開発への取り組み	
12:00			
13:00			
14:00		14:00 - 15:55	「Additive Manufacturingが 拓くものづくりの新境地: 常識に囚われない挑戦」
15:00			
16:00			



South 南
4ホール
アカデミックエリア

IMEC2024 ポスターセッション

9:00～17:00

* 11月7日(木)、8日(金)、9日(土)の9:00～12:00は
説明員が常駐します

多目的ステージ

工作機械関連業界のミニセミナー、YouTuberによるスペシャルトークショーなど、
多彩なプログラムをご用意しております!

多目的ステージプログラムはこちら ▶





講演会・セミナー

当日聴講可能 無料

* 講演会・セミナーは事前申込制です。
当日席に余裕がある場合に限り当日聴講を受け付けます。

会議棟7階 国際会議場 / 会議棟1階 レセプションホール

日 日本語(通訳含む) 英 英語
多 多言語対応(AI翻訳を含む)

基調講演

日 英 多

会議棟7階 国際会議場 11月5日(火) 13:00~14:00

ものづくりに夢を! THKが挑戦する新発想EV

THKが世界で初めて開発した工作機械の重要な構成要素であるLMガイド。このLMガイドやボールねじの技術を磨き上げ、独自開発のEV向け先進技術を搭載したEVプロトタイプLSR-05をJMS2023で公開。元日産自動車、現SNDPの中村史郎氏と共にこれまでの道のりや今後の展望を語る。



THK株式会社
代表取締役会長CEO 寺町 彰博 氏



株式会社SN DESIGN PLATFORM
代表取締役CEO 中村 史郎 氏



LSR-05

特別講演

日 英 多

会議棟1階 レセプションホール 11月6日(水) 13:00~14:15

モノづくりは 人づくり

CNやデジタル変革で激動の時代を迎えている製造業。そのような中、私たちが常に大切にすべき事は「いつの時代も人を磨いておくこと」。現場一筋、常に現場と向き合ってきた経験から、ものづくりにおける人材育成の大切さについて発信する。



トヨタ自動車株式会社
Executive Fellow 河合 満 氏

特別講演

日 英 多

会議棟7階 国際会議場 11月8日(金) 13:00~14:00

前田建設 ファンタジー営業部における 異業種共創の具体例

~JSOLと共にオープンイノベーションの
マネジメントを考える~

前田建設ファンタジー営業部は2003年に異業種共創の広報活動として始まり、舞台や映画になる成果を上げた。そのマネジメント手法を共創相手のJSOL社員と共に無から有を生む発想法の具体例として語る。



前田建設工業株式会社
執行役員 ICI総合センター長/
日本大学
理工学部交通システム工学科客員教授
岩坂 照之 氏



株式会社JSOL
エンジニアリング事業本部
課長 小田 穂高 氏



株式会社JSOL
エンジニアリング事業本部
天野 慎一 氏

特別講演

会議棟1階 レセプションホール 11月10日(日) 10:30~11:30

10:30~11:00

日 英 多

宇宙ロボットのものづくり

月や火星開拓を目標に人類の宇宙活動領域が広がり、これらの有人宇宙活動を支える宇宙ロボットが、軌道上で活躍している。これらの宇宙ロボットの概要や開発の流れなどを含めて、宇宙機器のものづくりについて紹介する。



宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術センター
技術領域主幹 大塚 聡子 氏

11:00~11:30

日 英 多

Women in STEM (ものづくり)の日常

ものづくりに関わる女性技術者・研究者は、いかにしてその道を選択したのか、日々、どのような生活を送っているのか、何を目標しているのか。大学/企業/ベンチャー/研究機関などに所属するパネリストの討論を通じて、ものづくりに関わる手がかりを掴んでもらいたい。



宇宙航空研究開発機構
有人宇宙技術センター
技術領域主幹 大塚 聡子 氏



株式会社アストロスケール
航法誘導制御エンジニア
岩澤 ありあ 氏



日本大学
理工学部航空宇宙工学科
准教授 高橋 晶世 氏



山口大学
講師 坂野 文菜 氏



株式会社IHIエアロスペース
経営企画部 事業開発グループ
主幹 福永 美保子 氏

IMEC2024 (第20回国際工作機械技術者会議)

オールラウンドセッション

日 英 有料

会議棟1階 レセプションホールA 11月7日(木) 12:30~18:00 / 11月8日(金) 13:00~18:00

総合テーマ:未来の社会を拓く製造技術

「持続可能な社会に向けた製造業の課題と将来」、「デジタル技術で変わる製造現場の未来」、「たゆみなく進化する自動化技術」、「新しい価値を創成する加工技術」の計4セッションにて、国内外の多彩な講師陣より最新技術動向についてご講演いただきます。



オールラウンドセッションに関する
お申し込み・お問合せ

一般社団法人
日本工作機械工業会
IMEC事務局
Tel:03-3434-3961
https://www.jmtba-imec.jp/
Email:imec@jmtba.or.jp

工作機械トップセミナー

※セミナー終了後に懇談会を実施予定。学生限定参加無料!!

会議棟7階 国際会議場11月9日(土) 12:30~15:10

工作機械メーカーの経営者や若手エンジニアより、ものづくりの最先端で活躍する工作機械の重要性と魅力、工作機械産業で働くことの素晴らしさをわかりやすくご紹介いただきます。



本セミナーに関する
お申し込み・お問合せ

一般社団法人
日本工作機械工業会
Tel:03-3434-3961
www.jmtba.or.jp
Email:topseminar@jmtba.or.jp

South
南

AM Area 講演会・セミナー

南1ホール 主催者メインステージ

11月5日(火)

13:00 | 14:00 **ダイキャストの未来が変わる、金属AM金型が変える**

株式会社日本精機
常務取締役
松原 雅人 氏



11月5日(火)

14:00 | 16:00 **AMの課題に正面から取り組む欧米企業**

日英多

11月5日(火)

14:00 | 14:30 **大型のMetal Powder Bed Fusion Printer導入の課題について**

Additive Industries
Account Manager
Tim Julsing 氏



11月5日(火)

14:30 | 15:00 **AM部品の熱機械シミュレーションのためのマルチグリッドモデリングアプローチ**

PanOptimization LLC
Principal Engineer
Tyler Nelson 氏



11月5日(火)

15:00 | 15:30 **産業用X線CTによるSoftware-defined inspection**

Lumafield
Co-Founder and Head of Product
Andreas Bastian 氏



11月5日(火)

15:30 | 16:00 **循環型経済のための持続可能な製造**

Continuum Powders
President - Asia Pacific
Phil Ward 氏



11月6日(水)

13:00 | 16:15 **金属Additive manufacturing セミナー**

JMTBA

11月6日(水)

13:00 | 15:15 **AM装置メーカーによる最新技術の紹介**

〈発表者〉 シーメンス株式会社、株式会社C&Gシステムズ、三菱電機株式会社、ヤマザキマザック株式会社、オークマ株式会社、DMG森精機株式会社、日本電子株式会社、株式会社松浦機械製作所、株式会社ソディック

11月6日(水)

15:15 | 16:15 **パネルディスカッション**

〈司 会〉 金沢大学 設計製造技術研究所 教授 **古本 達明 氏**

〈パネラー〉 東京農工大学 工学研究院 教授 **笹原 弘之 氏** 及びセミナー発表者

11月7日(木)

10:00 | 12:00 **TRAFAMセミナー (午前の部) 「ここまで来た!国産3Dプリンタの社会実装」**

TRAFAM/近畿大学
理事長/名誉教授
京極 秀樹 氏



11月7日(木)

11:10 | 12:00 **電子ビーム方式における研究開発**

東北大学未来科学技術共同研究センター
名誉教授 (金属材料研究所)
千葉 晶彦 氏



11月7日(木)

13:00 | 16:00 **TRAFAMセミナー (午後の部) 「ここまで来た!国産3Dプリンタの社会実装」**

ATRAFAM

11月7日(木)

13:00 | 13:20 **素形材産業を巡る動向とAMへの期待**

経済産業省 製造産業局 素形材産業室
室長
星野 昌志 氏



11月7日(木)

13:20 | 13:50 **国産砂型3Dプリンタ「SCM-1800」による一般産業機械用の部品製作への適用**

株式会社鶴見製作所
技術部 執行役員部長
桂田 暢哉 氏



11月7日(木)

13:50 | 14:20 **砂型3Dプリンタ「SCM-800II」の活用事例**

株式会社プロト
代表取締役 社長
長谷川 美成 氏



11月7日(木)

14:30 | 15:00 **未来のものづくりを拓く!最新大型金属3Dプリンタ適用技術とプラント・産業機械へのAM実装**

JFEエンジニアリング株式会社
社会インフラ本部 鶴見製作所 計画室 室長
水口 和生 氏



11月7日(木)

15:00 | 15:30 **電子ビーム金属3Dプリンタによる銅3D造形開発と誘導加熱コイル製造への応用**

日本電子工業株式会社
技術開発部 部長
大沼 一平 氏



11月7日(木)

15:30 | 16:00 **【総合討論】「ここまで来た!国産3Dプリンタの社会実装」**

〈モデレータ〉 TRAFAM/近畿大学
理事長/名誉教授 **京極 秀樹 氏**

〈パネリスト〉 各発表者



11月8日(金)

10:00 | 11:00 **Additive manufacturingの課題に欧米はどう取り組んでいるか**

日英多



Lead Consultant, Layered Ltd
CEO
Peter Rogers 氏



Additive Industries
Account Manager
Tim Julsing 氏



PanOptimization LLC
Principal Engineer
Tyler Nelson 氏



Lumafield
Co-Founder and Head of Product
Andreas Bastian 氏



Continuum Powders
President - Asia Pacific
Phil Ward 氏

11月8日(金)

11:00 | 12:00 **ロボット・自動化技術とAMのベストプラクティス**

業務用3Dプリンター / AM技術の情報ポータル

ShareLab



11月8日(金)

12:00 | 13:00 **事業としてのAM量産**

テュフズードジャパン株式会社
アディティブマニュファクチャリング エキスパート
永野 知与 氏



当日聴講可能 無料

* 講演会・セミナーは事前申込制です。
当日席に余裕がある場合に限り当日聴講を受付けます。

日本語(通訳含む) 英語 多言語対応(AI翻訳を含む)

11月8日(金)

13:00 | 16:00 「AM活用は肉盛溶接補修や異種金属コーティングの自動化から」 ～DED方式AM装置5社の特徴や違い事例をリレー方式バトルトーク～

司会



〈司会〉
一般社団法人日本AM協会
専務理事 **澤越 俊幸 氏**

ご挨拶



経済産業省
製造産業局 素形材産業室
室長補佐 **米原 牧子 氏**

バトルトーク 1 (30分)

DMG森精機のAM最新技術 及びAM量産部品のご紹介

DMG森精機株式会社
R&D執行役員 AM部 部長
廣野 陽子 氏



バトルトーク 2 (30分)

ワイヤー方式DED金属3Dプリンターによる 先進AMソリューションのご紹介

大陽日酸株式会社
イノベーションユニット イノベーション事業部 イノベーション営業部
営業部長
浅井 潤一郎 氏



バトルトーク 3 (30分)

DED方式3D金属積層装置LAMDAの 最新技術動向

ニデックマシンツール株式会社
マシニングセンタ事業部 第1開発部 開発第2グループ 第5チーム
チームリーダー
田内 拓至 氏



バトルトーク 4 (30分)

ワイヤ・レーザ金属3DプリンタAZ600を 用いた未来のものづくり

三菱電機株式会社 産業メカトロニクス製作所
レーザシステム部 AMシステム設計課
課長
木場 亮吾 氏



バトルトーク 5 (30分)

精密DEDシステム[ALPION] およびその応用例の紹介

株式会社村谷機械製作所
製造部 製品開発課 課長
左今 佑 氏



11月9日(土)

10:00 | 11:00 金属AMの補修技術としての 応用と課題

産業技術総合研究所
主任研究員
佐藤 直子 氏



11:00 | 13:00 金属加工業とAMのベストプラクティス

業務用3Dプリンター / AM技術の情報ポータル

ShareLab



13:00 | 14:00 いまさら聞けない 3Dプリンターの基礎知識

一般社団法人日本3Dプリンティング産業技術協会
研究員
山口 清 氏



14:00 | 15:00 グローバルな視点から見る AM/3Dプリンティングの最新動向

一般社団法人日本3Dプリンティング産業技術協会
常務理事・研究員
松岡 司 氏



11月10日(日)

10:00 | 13:55 ものづくり維新: Additive Manufacturingで 突破するモノづくりの壁

〈司会〉

株式会社バリュー・ファインダー
代表取締役
小柳 宏文 氏



10:00 | 10:55 金属3Dプリンターの活用事例 ～アルミダイカスト金型～

株式会社豊田自動織機
生技開発センター生技開発室CSプロジェクト 兼 コンプレッサ事業部 アルミ技術部
PL(プロジェクトリーダー)
佐藤 良輔 氏



11:00 | 11:55 マルチレーザーAM装置によるダイカスト向け 金型部品の製造および今後の展開

株式会社キャストック
生産技術課 AM班 班長
細瀬 夏末 氏



12:00 | 12:55 ギガキャストの技術動向と ダイカスト技術

リョービ株式会社
ダイカスト企画開発本部研究開発部 参与
神 重傑 氏



13:00 | 13:55 DED方式×5軸を用いた 金型補修・技術開発への取組み

株式会社フジ
AM技術部 部長
吉田 夏樹 氏



14:00 | 15:55 「Additive Manufacturingが拓く ものづくりの新境地:常識に囚われない挑戦」

〈ファシリテーター〉



株式会社バリュー・ファインダー
代表取締役
小柳 宏文 氏



株式会社金型新聞社
営業部長
山本 佳宏 氏

〈パネリスト〉



株式会社豊田自動織機
生技開発センター生技開発室CSプロジェクト
兼 コンプレッサ事業部 アルミ技術部
PL(プロジェクトリーダー)
佐藤 良輔 氏



株式会社キャストック
生産技術課 AM班 班長
細瀬 夏末 氏



リョービ株式会社
ダイカスト企画開発本部
研究開発部
参与
神 重傑 氏



株式会社フジ
AM技術部 部長
吉田 夏樹 氏



株式会社日本精機
常務取締役
松原 雅人 氏



出展者ワークショップ

会議棟6階 605 - 608会議室

日本語(通訳含む) 英語

11月5日(火)	11:00 12:00	605 会議室	A1-① W1054 三菱マテリアル株式会社 タイトル 最新エンドミルによる高能率・高精度加工 講師名 松岡 勇樹 高能率加工用エンドミル[VQ4MVM]による高角度ランピング加工 チップブレイク制御エンドミル[VQJCS/LCS]による高能率立壁加工事例 iMX+BT30一体型ホルダによる小型主軸MC高能率加工事例	日
	606 会議室	A1-② E5029 ヴェロンソフトウェア株式会社 タイトル 設計・製造における省力化を実現するHexagonソリューション(測定機・CAD/CAM/CAE)のご紹介 講師名 メトロジープログラクションソフトウェア事業部 ビジネスディベロップメント 近藤 裕一 現在、人手不足によりモノづくりの省力化・省人化が求められている。Hexagonのデジタル技術を活用した計測・解析・CAD/CAMとそれらを組み合わせた省力化・省人化への取り組みについてご紹介します。	日	
	607 会議室	A1-③ W2004 株式会社ファーステック 072-960-3340 タイトル マグネットチャックの利用法と生産性向上 講師名 株式会社ファーステック 代表取締役 中井 康人 マグパイス(永磁クランプブロックと永電磁チャック)でワークをクランプすることでいかに段取り時間の短縮や加工ワーク数の増加などで生産性を向上させられるのか、これまでの事例を交えながらご紹介します。	日	
	608 会議室	A1-④ S3046 クール・テック株式会社 タイトル 切削液に混ぜて環境対策! アルカリイオン水 講師名 杉岡 弘基 研削・切削加工用切削液にアルカリイオン水を混ぜると、切削液の腐敗を防止でき、廃液削減が期待できる。腐敗臭も抑制でき、気持ちのいい職場環境も実現できる。アルカリイオン水による環境対策の事例を紹介する。	日	
11月6日(水)	13:00 14:00	605 会議室	A2-① E2043 芝浦機械株式会社 タイトル 精密加工に求められる要求とそれに応える加工機の紹介 講師名 室伏 勇 市場より求められた機能を盛り込んだ、超精密マシニングセンタUVMのさらなる進化を紹介。最新加工事例を含む、JIMTOF展示の概要を説明します。	日
	606 会議室	A2-② W1047 富士ダイス株式会社 03-3759-7124 タイトル モーターコア金型向け超硬合金Vシリーズのご紹介 講師名 富士ダイス株式会社 技術開発本部 材料開発部 副部長 和田 光平 高硬度化する電磁鋼板を打ち抜く金型材料には、耐磨耗性と破壊靱性の両立、更には長時間の放電加工に耐えうる耐食性も必要となる。本講演では電磁鋼板の打抜きに適した超硬合金と最新の開発製品を紹介する。	日	
	607 会議室	A2-③ S3106 京浜ラムテック株式会社 045-620-6460 タイトル 同期攪拌接合(Synchronized Stir Welding)の基本特性とその展望 講師名 佐藤 一平 当社が開発した高速・高強度・低温接合が可能な、従来のFSWの特性を上回る次世代接合技術であるSSW(同期攪拌接合) Technology及びSSW技術搭載Tool Holderについて紹介します。	日	
	608 会議室	A2-④ W1029 瑞穂工業株式会社 06-6471-4721 タイトル 特殊表面改質処理 講師名 大澤 史和 コーティングとは異なる特殊表面改質処理「SurmoX」処理をご紹介します。処理前後で寸法変化がなく、内径奥深くまで処理する事ができます。また低温のため焼き嵌めやロウ付け品にも処理可能です。	日	
11月7日(木)	11:00 12:00	605 会議室	A3-① E7107 マーボス株式会社 タイトル ここから始める工作機械向けモニタリングシステム・明日から踏み出す工具費削減、マシン状態監視 講師名 MMS技術開発グループマネージャー 倉橋 康浩 多くの組織が抱える工具費削減、機械メンテナンス保守の課題。この2つの側面からモニタリング(見える化)の重要性、実際に何が見えるか、最新データ活用方法、導入ステップなど事例を使ってご説明します。	日
	606 会議室	A3-② E4007 ENEOS株式会社 タイトル ENEOSの潤滑油によるカーボンニュートラルへの貢献 講師名 潤滑油研究開発部 部長 星野 耕治(工学博士) 「機械の血液」と呼ばれる潤滑油でカーボンニュートラルへの貢献を実現するためのENEOSの技術と製品をご紹介します。事前申し込みは不要です。会場(606会議室)まで直接お越しください。	日	
	607 会議室	A3-③ E7116 ヘキサゴン・メトロジープ株式会社 タイトル 測定における自動化技術 講師名 後藤 淳一 測定における自動化・省力化は今後の必須の課題となってくる。幅広い測定機器ならびにハードウェア・ソフトウェアを提供するHexagonは、国内外において長年に渡って培った自動化技術について解説する。	日	
	608 会議室	A3-④ AM103 株式会社兼松ケージーケイ 03-5579-5863 タイトル 北京精彫 加工事例の紹介 講師名 新規事業推進部 新規事業開発・営業技術支援室 井森 敏 北京精彫は、CNCとCAD/CAMの融合を目指す次世代の機械を開発しました。この機械を使用することで、工程が変わり動き方が変わります。今回のセミナーでは加工事例を紹介いたします。このセミナーが、次世代の工程や働き方のヒントとなり、少しでもお役に立てれば幸いです。	日	
11月6日(水)	11:00 12:00	605 会議室	B1-① W1020 オーエスジー株式会社 0533-82-1111 タイトル オーエスジー新製品説明会 講師名 溝口 哲也、山本 剛広 カーボンニュートラル実現に向けて様々な取り組みが必要であると認識しています。持続可能な社会実現に貢献できる環境配慮型製品を中心にオーエスジーの新製品をご紹介します。	日
	606 会議室	B1-② W1034 株式会社イワタツール 052-739-1080 タイトル 加工時間短縮の手法と事例 講師名 岩田 昌尚 穴加工を主体としたサイクルタイム短縮方法。生産性向上と工具摩耗抑制は両立できる。具体的な手法と最新事例をご紹介します。難削材、小径、高精度高品位加工においても適用可能。	日	
	607 会議室	B1-③ E7123 ハイデンハイン株式会社 03-3234-7781 タイトル 先進的なエンコーダ技術 講師名 Mr. Helmut Kügel/尾形 有三 どのようにしてエンコーダがTCOを削減し、付加価値を通じて付加価値を提供できるのか。過酷環境下でのエアープレッス稼働エンコーダ、振動データ収集角度エンコーダ及び新型インダクティブ角度エンコーダの技術紹介	日	
	608 会議室	B1-④ E6035 ModuleWorks GmbH タイトル ターゲットデジタルファクトリー:製造現場の問題解決のためのスマートマシンとデジタル化 講師名 Fabian Tarara and Sven Odendahl 次世代の製造方法について一緒に考えてみませんか? 私たちの最新のソフトウェアコンポーネントを利用して、製造プロセスをデジタル化し、時間短縮と効率化、そして生産性を高める方法についてご説明いたします。	日	
11月7日(木)	13:00 14:00	605 会議室	B2-① E1089 United Grinding Group Management AG 0566-71-1666 タイトル WALTERの最新レーザ加工機のご紹介 講師名 ドルド クラウス博士 2025年にWALTERより販売開始となる、工具製造における最新のレーザ加工機について開発責任者からご紹介します。工具製造の用途別のレーザ選定ポイントなども、ご説明致します。	日
	606 会議室	B2-② E7111 株式会社ユーロテクノ 03-3391-1311 タイトル 60分で分かる非接触3D測定機の選び方 講師名 小原 史彦(株式会社ユーロテクノ)、秋本 壮一(ブルカージャパン株式会社) 様々な非接触3D測定機の位置づけ、表面粗さ計測へ有効な干渉方式の特徴・ユニークな測定方法や、測定リードタイムを大幅に短縮可能な3DAを活用した最新の測定技術をご紹介します。	日	
	607 会議室	B2-③ W2017 THK株式会社 03-5730-3845 タイトル OEE(設備総合効率)最大化プラットフォーム OMNledgeの広がり今後の展望 講師名 THK株式会社 常務執行役員 産業機器統括本部 FAソリューション営業本部 部長 坂本 卓哉 機械要素部品メーカーのTHKが展開するOMNledgeが広がりをを見せています。OMNledgeのこれまでの取り組みと今後の展望についてマシニングユーザー様、マシンビルダー様に向けて発信いたします。お客様の設備総合効率、生産効率アップに貢献するプラットフォームにご興味いただける方のご参加をお待ちしています。	日	
	608 会議室	B2-④ E7069 ハーディング株式会社 タイトル 工作機械設備保全ソリューション:コネクタ~産業用ラズパイまで 講師名 未定 本セミナーでは保全業務効率化を主眼として、現場製作可能なコネクタの可能性を広げるプッシュイン技術、さらに工作機械連携に特化したインターフェース・ミドルウェアが充実した産業用ラズパイを紹介いたします。	日	
11月6日(水)	15:00 16:00	605 会議室	B3-① E7131 株式会社ミットヨ タイトル 3D計測が拓くものづくりの未来 講師名 株式会社ミットヨ フェロー 阿部 誠 DX化の推進によるものづくりの一元通貫化への期待が高まっています。中でも、ものづくりの川下工程にある加工・計測においては、工程を速く進むものづくりの脱属人化、脱2D図面化などの課題の指摘もあります。3D計測技術の応用と関連業界のルール形成への将来展望を包摂して日本のものづくりの競争力強化への貢献を目指すミットヨの取り組みをご紹介します。	日
	606 会議室	B3-② WA002 株式会社IHI タイトル IHI HauzerとIHI Bernexの最新コーティング技術 講師名 滝沢 正明、ダニエル・シュランツ 硬度、耐磨耗性、耐腐食性などを付加することで工具や部品の性能と寿命を向上させる、HauzerのPVDコーティングとBernexのCVDコーティングの、最新の技術と装置についてご紹介します。	日	
	607 会議室	B3-③ W1035 株式会社田野井製作所 048-092-1731 タイトル 『ロボットマシニングとは?!』 講師名 ロボット加工技術研究会 岡 文晴 巨大な被加工物を加工する際、マシニングセンタでは設置面積、設備費用、汎用性などでムダが生じてしまう場合があります。注目のロボットマシニング加工で、どれだけの加工ができるのか解説します。	日	
	608 会議室	B3-④ AM103 株式会社兼松ケージーケイ 03-5579-5863 タイトル 北京精彫 加工事例の紹介 講師名 新規事業推進部 新規事業開発・営業技術支援室 井森 敏 北京精彫は、CNCとCAD/CAMの融合を目指す次世代の機械を開発しました。この機械を使用することで、工程が変わり動き方が変わります。今回のセミナーでは加工事例を紹介いたします。このセミナーが、次世代の工程や働き方のヒントとなり、少しでもお役に立てれば幸いです。	日	
11月7日(木)	11:00 12:00	605 会議室	C1-① E4012 富士電子工業株式会社 072-991-1361 タイトル カーボンニュートラルと高周波誘導加熱の可能性 講師名 堂阪 学(どうさか まなぶ) 塩田 源志(しおた げんし) カーボンニュートラルへの取り組みが求められる昨今、ガスや化石燃料を使わないIH(高周波誘導加熱)に注目が集まっています。今回の講演では、IHを利用した先進的な取り組みについてご紹介致します。	日
	606 会議室	C1-② W1057 日進工具株式会社 タイトル 加工誤差を0.01mmから0.002mmに変える高精度小径エンドミルの効果的な使用方法 講師名 日進工具株式会社 開発部 開発グループ 研究開発課 課長 千田 聡 小径エンドミルを効果的に活用して加工誤差を小さくする方法として下記項目について具体例を説明する。 ・荒・中・仕上げの工程別に考える適正な切削条件 ・加工方法とツールパス ・環境整備(室温や機械の発熱など)	日	
	607 会議室	C1-③ E2008 YKT株式会社 03-3467-1252 タイトル ユーザックパワー半導体SiCインゴットの高効率成形加工技術とペムテック社超硬・難削材の高速電解加工技術 講師名 YKT株式会社 ユーザック(米)のSiCインゴットの高効率成形技術とペムテック(仏)の超硬・難削材に適した高速電解加工技術をご紹介します。どちらも既存の製造プロセスに革新的な変化をもたらす技術として注目されています。	日	
	608 会議室	C1-④ E1025 フルサト・マルカホールディングス株式会社 タイトル アルム株式会社 講師名 平山 京幸 GPTベースでインパクトある製品開発をする~どのように?メーカーのAI活用事例から学ぶ大規模言語モデルLLMであるGPTのAPIで製造関連アプリケーションを着想し、開発するやり方について話します。製造分野でインパクトある製品開発の提言をします。	日	
11月7日(木)	13:00 14:00	605 会議室	C2-① W1056 株式会社不二越 タイトル パリレスシリーズの紹介 講師名 干場 俊洋 昨年12月にリリースした大きな反響をいただいている「パリレスシリーズ」について、製品の特長と有効活用できる加工形状について、徹底解説します。是非、皆様のご来場を心待ちにしております。	日
	606 会議室	C2-② W1058 エリコンジャパン株式会社 タイトル BALINIT® ALCRONA EVO~卓越した性能と大幅な工具コストの削減 講師名 イヴァン・ヨブコフ BALINIT® ALCRONA EVOは当社の第3世代のALCrNコーティング。従来品と比較して高い工具性能を提供。工具交換頻度を削減、環境への負荷を抑え、持続可能性に貢献。幅広い用途に適用可能。	日	
	607 会議室	C2-③ E7119 ファロージャパン株式会社 052-890-5011 タイトル FAROの3次元測定器による新しい測定方法のご提案 講師名 藤中 光一 [発泡ウレタンや樹脂成型品など、変形しやすい部品の非接触測定][金型や設備、大型構造物などを現場で測定][タイプの異なる測定器の組み合わせや、複数台の測定器を使用した効率的で自由度の高い測定]など	日	
	608 会議室	C2-④ E3042 米沢工機株式会社 03-3703-2131 タイトル ものづくりに関するトレーサビリティの課題と対策(画像認識による個体識別) 講師名 株式会社GAZIRU 代表取締役 福澤 茂和 *内容は変更になる可能性があります。	日	
11月7日(木)	15:00 16:00	605 会議室	C3-① W1039 サンドビック株式会社(ドーマープラメット) 81-90-9136-6802 タイトル Introduction to Dormer Pramet 講師名 伊集院 弘治 ドーマープラメット社は、金属切削工具の世界的メーカーで、サプライヤーです。ドーマーとプラメットという2つのグローバルブランドで、私たちはお客様が最も効率的な方法で機械加工を行えるようお手伝いします。	日
	606 会議室	C3-② E7056 ユニバーサルロボット 03-3452-1202 タイトル 次世代の協働ロボットシステム開発基盤「PolyScope X」のご紹介 講師名 未定 独自のロボットシステムの構築を実現する、次世代の協働ロボットシステム開発基盤「PolyScope X」をご紹介します。これにより、差別化された自動化システムをユーザーに提案できるようになります。	日	



AM Area 出展者ワークショップ

南1ホール出展者ワークショップ会場

11月7日(木)	15:00 16:00	607 会議室	C3-③ E5018 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 080-3697-6096 タイトル 切削シミュレーション活用のための新アプローチ 講師名 江渡 寿郎 今後ますます進むデジタル活用時代に向けて切削シミュレーション技術の活用方法ご紹介を行います。新しい取り組みとしてデジタル工具データの準備や加工クランプに関する事例をご紹介予定です。
	608 会議室	C3-④ S3021 日本エスケイフ株式会社 タイトル 新材料を使用した高速・高荷重スピンドル用超精密ベアリングとSKFエンジニアリングサポートのご紹介 講師名 金子 弘治	

11月8日(金)	11:00 12:00	605 会議室	D1-① S2001 ファナック株式会社 タイトル ①人手不足はファナックロボットで解決! ②自動化による加工現場の自動化 ③ファナック工場でのデータ活用改善事例 講師名 ①森岡 昌宏 ②流石 義人 ①初めてでも簡単に使える協働ロボットによる加工現場の自動化事例をご紹介します。 ②製造現場のDXで陥りがちな課題とそれを解決する「改善活動の進め方」を「ファナック工場」の事例を参考に紹介します。
	606 会議室	D1-② S2002 三菱電機株式会社 タイトル NC加工AI診断ツール[NC MachiningAID]~三菱電機CNCが目指す完全自動化ライン~ 講師名 石田 哲史 熟練工不足やコスト増加などの問題に直面する加工業界。加工IoTデータを収集・診断することで、品質不良の防止と加工最適化によるコスト削減を実現します。	
	607 会議室	D1-③ E7132 ブルーム-ノボテスト株式会社 0568-74-5311 タイトル 迫る加工現場のリアル! はじめよう、机上測定と自動化。 講師名 高村 亮 人材不足が叫ばれる中、ものづくりの変化に効率的に対応する手段として「自動化」は避けて通れないテーマです。弊社製品による机上測定の導入効果や自動化成功事例などを、より具体例にご紹介します。	
	608 会議室	D1-④ E5019 ベッコフオートメーション株式会社 タイトル PCベースCNCを用いた切削加工モニタリング研究およびドイツ研究機関での研究事例 講師名 高口 順一 従来のCNCでは工作機械の高度な研究や技術開発が困難である。そこで自由な制御実装が可能なPCベースCNCの活用事例として、機械学習を用いた切削加工研究およびドイツ研究機関での工作機械研究を紹介する。	

11月8日(金)	13:00 14:00	605 会議室	D2-① E3034 株式会社牧野フライス製作所 タイトル 次世代のV seriesが実現する高付加価値な金型加工 講師名 三島 隆洋 機械に対する要求事項が多様化する昨今、お客様の声を具現化する次世代のマシニングセンターによる最新事例をご紹介します。
	606 会議室	D2-② E1072 株式会社アマダ タイトル アマダのレーザ溶接ソリューションが拓く次世代のモノづくり 講師名 西山 治巳 アマダは、社会課題解決に向け「まだないモノを、アマダとつくる。」をスローガンに掲げ、お客様のモノづくりを支えています。本講演では特に、板金部品、銅部品、電子部品などの安定かつ、スキルレスな接合ソリューションをご紹介します。	
	607 会議室	D2-③ E2043 芝浦機械株式会社 タイトル 「モノづくりの新たな選択肢へ」~摩擦攪拌接合(FSW)とは~ 講師名 伊藤 健 摩擦攪拌接合の基礎知識や、弊社の取組みについて	
	608 会議室	D2-④ W2021 株式会社日研工作所 タイトル ツーリング&円テーブル:日研ならではのデュアルテクノロジー 講師名 河田 高洋 新発表の二面拘束BT30旋削ツールと旋削対応の超高速回転DDテーブルを中心に、小型マシニングセンターの生産性をさらに向上させる、日研ならではの円テーブル技術、及びツーリング技術をご紹介します。	

11月8日(金)	15:00 16:00	605 会議室	D3-① E5034 シチズンマシナリー株式会社 タイトル お客様の課題を軽減する支援機能について 講師名 開発部応用開発課 課長 泉 和之 当社ではお客様の課題を軽減し、受注から出荷までの業務をスムーズに進めるための様々な機能やサービスを提供しています。今回はその取り組みと課題軽減に貢献するLFV(低周波振動切削)機能を紹介いたします。
	606 会議室	D3-② W1043 ダイジェット工業株式会社 06-6794-0160 タイトル 頑固一徹による深掘り加工技術と、アルミの高機能刃先交換式工具について 講師名 切削技術部 技術支援課 主任 蔵敷 佳秀 ギガキャストの普及により深掘り加工のニーズが高まり、また軽量化を目的にアルミ加工が増えています。頑固一徹による深掘り加工技術と、アルミの高機能刃先交換式工具による改善事例について説明いたします。	
	607 会議室	D3-③ W1015 ユニオンツール株式会社 03-5493-1020 タイトル 高精度・高効率加工で加工現場を変える最新エンドミルの上手な使い方 講師名 第二工具技術部 エンドミル工具開発課 課長 渡邊 昌英 ・加工面品質をワンランクアップさせる工具と加工方法 ・部品加工の効率化を支える最新型番のご紹介 ・UDCシリーズのラインナップ紹介、JIMTOFコラボワークのご紹介	
	608 会議室	D3-④ W1071 株式会社神戸製鋼所 タイトル 次世代PVDコーティング技術による切削工具・金型の性能向上 講師名 大塚 康平 次世代PVDコーティング技術により得られた、切加工精度や工具寿命、難削材加工における効果に加え、金型加工における寿命向上効果の事例をご紹介します。	

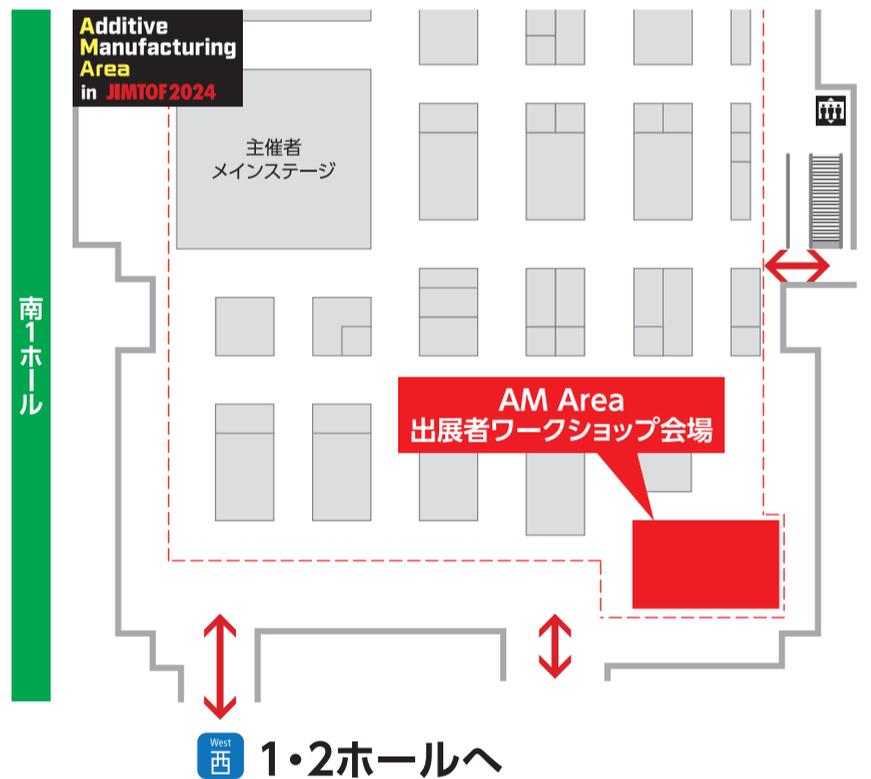
11月9日(土)	13:00 14:00	605 会議室	E2-① E4056 株式会社データ・デザイン 052-953-1588 タイトル 切削力解析ソフトウェア「Toolyzer」による加工面品位向上のご提案 講師名 井澤 太希 数多くの切削工学プロジェクトから生まれたユニークな切削解析ソフトウェア「Toolyzer」の製品紹介と、最新版で対応した切削条件最適化機能を含めたデモンストレーションを実施します。
	605 会議室	E3-① E5022 株式会社シーイーシー 03-5789-2455 タイトル GXを加速させるデジタルデータの利活用提案と、製造DXのお取り組み事例ご紹介 講師名 市村 直樹 IT分野とOT領域での経験と実績を融合し、お客様のGX実現に貢献するご提案をいたします。後半では、具体的な製造DXの取り組み事例をご紹介します。	
	606 会議室	E3-② WAO19 株式会社アヤボ 0566-71-1060 タイトル 四半世紀の大変革!最新コーティングと時間遅れの自動振動モデルの到達点 ~切削工具編~ 講師名 株式会社アヤボ 藤井勝志、平田直之/大分大学 劉孝宏教授、中江貴志准教授/鹿児島大学 松崎健一郎教授 AIP装置の大変革から生まれた切削工具の最新コーティングと、時間遅れの自動振動モデルから設計された切削工具の加工精度向上について紹介します。	
	607 会議室	E3-③ E5042 株式会社CGTech 03-5911-4688 タイトル 多様化する加工へのポストプロセッサ対応 講師名 株式会社戸田レーシング 中川 茂(カカガワ シゲル)氏 ICAMのCNCシミュレーションおよび検証スペシャリストのチームが理想的なソリューションを提供します。	
	608 会議室	E3-④ AM103 株式会社兼松ケージーケイ 03-5579-5863 タイトル 北京精彫 加工事例の紹介 講師名 新規事業推進部 新規事業開発・営業技術支援室 井森 敏 北京精彫は、CNCとCAD/CAMの融合を目指す次世代の機械を開発しました。この機械を使用することで、工程が変わり動き方が変わります。今回のセミナーでは加工事例をご紹介します。このセミナーが、次世代の工程や動き方のヒントとなり、少しでもお役に立てれば幸いです。	

11月6日(水)	11:30 12:30	H2 AM132 ニデックマシンツール株式会社 タイトル 金属3Dプリンタの最新活用事例 -パウダDED方式・バインダージェット方式- 講師名 江川 優衣子 ニデックマシンツールが取り扱う金属3Dプリンタ2種類を、造形サンプル・導入事例を交えてご紹介いたします。 ・パウダDED方式 LAMDAシリーズ ・バインダージェット方式 PX100
	13:15 14:15	H3 AM105 日本3Dプリンター株式会社 タイトル ものづくりの現場で加速している! カーボン・金属3Dプリンタ 講師名 トーマス・パン(協賛社:マークフォーワード・ジャパン株式会社) ものづくり現場では、高強度のカスタムパーツが必要で、カーボンファイバーや金属の3Dプリントが増加中。本講演では、外注切削よりも納期とコストを10分の1に抑える最新3D技術とソフトウェアをご紹介します。

11月7日(木)	11:30 12:30	I2 AM133 株式会社エスケーフライン 077-566-1201 タイトル セラミック3Dプリンタ事業紹介と今後の展望 講師名 浅野 忠克 当社は独自開発の光造形法によるセラミック3Dプリンタと周辺装置である公転自転式攪拌脱泡装置の販売、受託造形、研究開発支援事業を展開し、装置や造形プロセス、造形部品の紹介および応用展開について述べる。
	13:15 14:15	I3 S2002 三菱電機株式会社 タイトル ワイヤ・レーザ金属3Dプリンタ[AZ600]~製造現場での実用化に向けた取組み~ 講師名 レーザシステム部 AMシステム設計課 服部 聡史 昨今注目度が高まっているDED方式を採用した当社の金属3Dプリンタは、高速で緻密な造形を実現しています。本講演ではニアネットシェイプ工法、異種金属造形、金型補修、溶接代替など最新事例をご紹介します。
	15:00 16:00	I4 AM117 株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン 03-5798-2500 タイトル 3Dプリンタ業界の次のトレンドはこれだ! 3D SYSTEMSの新製品「次世代光造形装置 PSLA270」 講師名 並木 隆生 常に業界をリードしてきた3D SYSTEMSがリリースする新製品「次世代光造形装置 PSLA270」をご紹介します。金型レスのデジタルダイレクト製造を実現する鍵となる製品です。

11月8日(金)	11:30 12:30	J2 E4015 株式会社ソディック 045-330-4816 タイトル 金属3Dプリンタで創るダイカスト金型の適用事例と独自技術 講師名 俵 那穂子 ソディックの金属3Dプリンタは複合加工機となっており、机上切削や位置決め機能を搭載。さらに独自開発粉末と特許工法を併せてご活用いただくことで、業界最大級のダイカスト金型製造を可能にします。
	13:15 14:15	J3 E7024 ポリウムグラフィックス株式会社 タイトル Hexagonが変えるAdditive Manufacturingの製造プロセス 講師名 木下 修平 Hexagonは、積層造形の製造プロセス(設計/開発/生産/品質)に纏わる全てのソリューションを保有している企業です。多種多様なCAE、CAD、CAM、測定機などを本セミナーでご紹介させていただきます。

AM Area出展者ワークショップ会場



会議棟6階 605 - 608会議室





アカデミックエリア 南4ホールに新設

Academic Area Newly established in South Hall 4

南4ホールに「アカデミックエリア」が新設された。学生のモノづくり業界への興味・関心を高める狙い。また南1・2ホールには「Additive Manufacturing Area in JIMTOF2024(AMエリア)」が設置されている。

The “Academic Area” has been newly established in South Hall 4 with the aim of increasing students’ interest in manufacturing. An “Additive Manufacturing Area in JIMTOF 2024 (the AM area)” has also been set up in South Halls 1 and 2.

若者にモノづくりの魅力アピール

モノづくり業界では人手不足・若手不足が叫ばれており、業界全体でモノづくりの魅力若者にアピールすることの重要性が高まっている。アカデミックエリアには出展企業の総務・人事担当者と直接交流できる「キャリアマッチングスクエア」が設置され、22社が出展、就活に役立つ情報を提供する。同コーナーの受け付けでは、学生限定でドーナツを無料配布している。

企画展示「マシンツール・インフィニティ」では、①汎用旋盤やCAMシミュレーターによるモノづくり体験②免震車による免震体験③電気自動車(EV)のプロトタイプ展示④企業のモノづくりプロジェクトにおける秘話紹介の四つのコンテンツを楽しめる。

また国内の大学や研究機関が53のテーマで研究発表する「IMEC(国際工作機械技術者会議)ポスターセッション」が開催されているほか、オープンカフェ内の多目的ステージでは業界のトップランナーによるミニセミナーやYouTuberによるトークショーなどが行われる。

市場拡大進むAMの最新技術が集結

前回に続き、南1・2ホールにはAMエリアが設置されている。3Dデータモデルを基に金属や樹脂などを積み重ねることで形状を作る積層造形(AM)技術は、航空宇宙分野や医療分野向けの部品製造などで活用が進んでおり、今後も市場の成長が見込まれる。

会場では技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)による特別展示「ここまで来た!国産3Dプリンタの社会実装」が行われている。



四つのコンテンツを楽しめる企画展示「マシンツール・インフィニティ」
Special exhibition “Machine Tool Infinity” offers four types of content



Communicating the appeal of manufacturing to young people

In the manufacturing industry, there is a shortage of labor and young people, increasing the importance of communicating the appeal of the entire manufacturing industry to young people. The Academic Area includes a “Career Matching Square” with 22 companies setting up booths for students to talk directly to exhibitors’ general affairs and HR personnels, providing useful information for job hunting. Free donuts will be given to students only at the Square’s reception desk.

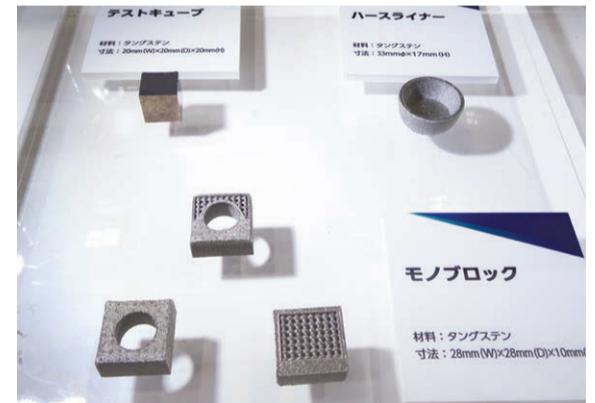
Visitors to the special exhibition “Machine Tool Infinity” can enjoy four types of content: (1) hands-on manufacturing experiences with multi-purpose lathes and CAM simulators; (2) seismic isolation experiences with a seismic isolation experience vehicle; (3) exhibits of EV prototypes; and (4) behind-the-scenes stories of companies’ manufacturing projects.

There is also an “International Machine Tool Engineers’ Conference (IMEC) Poster Session” for Japanese universities and research institutions to present their research on 53 themes, and mini seminars by industry leaders as well as talk shows by YouTubers that will take place on the multi-purpose stage inside the open café.

Gathering the latest technologies in the rapidly expanding market of AM

Just like last time, the AM area has been set up in South Halls 1 and 2. Additive manufacturing (AM) technologies form shapes by layering metal and plastic, based on 3D models. Their applications are expanding in areas such as the manufacturing of aerospace and medical parts, and the market is expected to continue growing.

The AM Area also has a special display “The latest status of social implementation of Japanese 3D printers” by the Technology Research Association for Future Additive Manufacturing (TRAFAM).



南1・2ホールではAMの最新技術が披露されている
(日本電子ブース)
South Halls 1 and 2 display state-of-the-art AM technologies
(JEOL booth)

THK
The Mark of Linear Motion

最先端の自動化

— 期待を超える 革新への“動き” —

私たち THK は機械の直線運動部のころがり化を独自の技術により実現し、「直線運動案内」として世界で初めて製品化。

いつの時代も、蓄積したノウハウで最先端の自動化に貢献してきました。

これからも幅広い製品とサービスで生産現場の可能性を広げていきます。

Official Partner of
Major League Baseball



THK株式会社

マーケティング PR 統括部 TEL 03-5730-3845 www.thk.com

小間番号 西2ホール W2017

メジャーリーグベースボールの商標及び著作権は、メジャーリーグベースボールの許可に基づいて使用しています。詳しくは MLB.com を参照ください。